

## アメリカの社会と文化

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This course is designed to assist students in learning about American society and culture and America's influence in the world. Extensive use will be made of audio visual materials depicting various aspects of American life.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction	17	Exam III
2	Intro to American Society & Culture	18	The Dominant Culture in America
3	American Geography	19	Minority Cultures in America
4	Exam I Map Quiz	20	Challenges to the Dominant Culture
5	The Native People of America	21	Malcolm X
6	Pocahontas	22	Slavery in American
7	Europeans Arrive	23	Amistad
8	Dances with Wolves	24	African American Society and Culture
9	American Expansion on the Continent	25	Exam IV
10	American Expansion on the Continent	26	American Religious Culture
11	Exam II	27	30 Days with American Muslims
12	American Expansion around the World	28	Queer Nation: Gay Society and Culture
13	American Expansion around the World	29	30 Days in the Castro
14	Born on the Fourth of July	30	American Car Culture
15	American Military Culture and Guns	31	Exam V
16	Bowling for Columbine		

### 【履修上の注意事項】

Students should note that this class will be conducted primarily in English.

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, class participation and written exams. The written exams will consist of comprehension questions based on the textbook and essays based on issues discussed in class, from the textbook and from films. One makeup exam will be allowed.

### 【テキスト】

The text for this class will be available from the instructor.

### 【参考文献】

## アメリカ文学史

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

アメリカ文学の流れを概観し、主要作家の作品を鑑賞する。植民地時代・独立戦争時の歴史背景から始め、19世紀、特にアメリカン・ルネサンス期の作家・作品の講読を通して、「アメリカの良質な知的財産」に触れ、その理解を図る。

### 【授業の展開計画】

授業では、テキストの中の作家についての説明文と作品を、基本的に英語の原文を用いて読み進む。グループによる発表を中心に、個人指名による質問を含めた授業を行うので、必ず予習をしてくること。授業での質問に対して、ある回数以上答えられない者には、単位を与えない。

### 【履修上の注意事項】

特になし

### 【評価方法】

中間試験：33%、期末試験：各33%、グループ発表及び授業中の指名に対する応答や発言：34%

### 【テキスト】

プリント教材を使用する。

### 【参考文献】

横沢四郎他『概説アメリカ文学史』金星堂、1981年  
その他、適宜紹介する。

## イギリスの社会と文化

担当教員 ヒーター シブソン

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

This class is intended to give students an opportunity to explore contemporary issues in British culture and society and reflect upon their relevance to contemporary societies elsewhere, particularly Okinawa and Japan.

### 【授業の展開計画】

In collaboration with the teacher, students will be expected to produce a bilingual group project and a final individual report (in English) focusing on an area of their choice.

A number of themes will be proposed, but these are highly negotiable.

### 【履修上の注意事項】

\* For scheduling reasons, I would like to advise students who are taking this class not to register for 英語圏社会文化特殊講義.

\* Communication of ideas will take precedence over medium of communication.

### 【評価方法】

Assessment will be based on the following:

\* assignments relating to course content

\* attendance and participation

### 【テキスト】

No textbook is prescribed for this course.

### 【参考文献】

# イギリス文学史

担当教員 西原 幹子

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

## 【授業のねらい】

本講では、イギリスの代表的な作家とその作品について、時代順に解説していきます。時代ごとの歴史的、文化的特徴や、各作家の作品の特徴について学び、文学史の全体的な流れを掴むことを目指します。

## 【授業の展開計画】

- 1週目：講義説明
- 2週目：中世
- 3～5週目：ルネッサンス
- 6週目：17世紀初期
- 7週目：王政復古期
- 8～9週目：18世紀
- 10週目：ロマン派
- 11～13週目：ヴィクトリア朝
- 14～15週目：20世紀
- 16週目：学期末試験

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

レポート課題（40%）、学期末試験（60%）

## 【テキスト】

初回の授業で指示します

## 【参考文献】

- 『イギリス文学史入門』川崎寿彦著（研究社）
- 『イギリス文学史概説』三ツ星堅三著（創元社）

## 異文化理解 I

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講義では、自分とは異なる文化を持つ様々な人たちのライフスタイルや価値観などを認識させ、異文化への気づきを促すこと及び異文化に対する理解能力を高めることを目標とします。日本人と外国人の生活や文化などの相違に気づかせるクイズ、グループワーク、映画鑑賞、調査発表などを通して異文化社会の多様性と現実を学びます。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	異文化ってなに？
2	外国人が感じる日本の「ふしぎ」
3	英語で遊ぼう
4	ネイティブスピーカーの知らない英語
5	知っておきたい英語の知識
6	異文化の共通点・相違点を探そう！（1）
7	” （2）
8	常識から非常識へ
9	映画鑑賞：外国人のユーモア
10	学生発表・評価（1）
11	” （2）
12	” （3）
13	” （4）
14	” （5）
15	” （6）
16	” （7）

## 【履修上の注意事項】

特になし

## 【評価方法】

出席率及び授業参加態度（50%）、プロジェクト及び口頭発表（50%）により総合的に評価します。

## 【テキスト】

## 【参考文献】

## 異文化理解Ⅱ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

前期の「異文化理解Ⅰ」に続き、本講義では、自分とは異なる文化を持つ様々な人たちのライフスタイルや価値観などを認識させ、異文化への気づきを促すこと及び異文化に対する理解能力を高めることを目標とします。日本人と外国人の生活などの相違に気づかせるクイズ、グループワーク、映画鑑賞、調査発表などを通して異文化社会の多様性と現実を学びます。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	英語の「構え」でコミュニケーション
3	生活文化から生じるコミュニケーション・ギャップ
4	知っておきたい一般知識
5	映画鑑賞：異文化間に生じる諸問題を考えよう！（1）
6	” （2）
7	” （3）
8	” （4）
9	学生発表・評価・Q&A（1）
10	” （2）
11	” （3）
12	” （4）
13	” （5）
14	” （6）
15	” （7）
16	” （8）

## 【履修上の注意事項】

特になし

## 【評価方法】

出席率及び授業参加態度（50%）、プロジェクト及び口頭発表（50%）により総合的に評価します。

## 【テキスト】

## 【参考文献】

## English Grammar I

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

中学校・高等学校で履修した文法事項を活用しながら復習するとともに定着を図ります。

## 【授業の展開計画】

授業前半は、ペア・グループでドリル、スピーキング活動を通して文法事項の復習を行います。授業の後半はワークシートを活用した発表と全体討議を行います。

## 【履修上の注意事項】

- (1) 指定の座席に座る
- (2) 辞書持参（できるだけ電子辞書を持参してください）
- (3) 遅刻、無断欠席をしない（遅刻2回で欠席1回と見なします）

## 【評価方法】

出席状況、発表、クイズ、提出物（ワークシート、ポートフォリオ）を総合的に評価します。

## 【テキスト】

授業の中で連絡します。

## 【参考文献】

授業の中で紹介します。

## English Grammar I

担当教員 宮城 和文

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

テキスト『伝えるための英文法・英作文(Grammar for Communication)』（朝日出版）を主教材として用い、日常起こりうる会話場面を題材にしたコミュニケーション演習を行いながら英文法の基礎知識を身につけていく。ペアまたはグループによる課題スキットの暗唱・発表を行い、学んだ文法知識を実際の対話に活かすことができるようになる。

## 【授業の展開計画】

受講生の学習状況および学習内容の理解度に応じ、下記計画に変更が生じる場合があります。詳細については、開講日に説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Week 1: Course Orientation, Unit 1-Initiating/closing a small talk
2	Week 2: Unit01 & 2-Emphatic Expressions, etc.
3	Week 3: Unit03-Conjunctions
4	Week 4: Unit04-Verbs: Past Tense
5	Week 5: Unit05-Verbs: Future Tense
6	Week 6: Unit06-Express Yourself with Sense Verbs
7	Week 7: Unit07-Causative Verbs
8	Week 8: Unit08-Reporting Verbs / Midterm Examination
9	Week 9: Unit09-Nouns
10	Week10: Unit10-Prepositions
11	Week11: Unit11-Adjectives & Adverbs to Express Your Feelings
12	Week12: Unit12-Verbs: Progressive
13	Week13: Unit13-Articles
14	Week14: Unit14-Sentence Structure: Word Order
15	Week15: Unit15-Sentence Structure: Adding More Information
16	Week16: Final Examination

## 【履修上の注意事項】

- 各自「単語ノート」を作成しますので、学習ノートを一冊準備してください。
- 3分の1を超える欠席がある者は学則により「不可」となります。
- 遅刻, 居眠, 理由不明の離席, 私語, 飲食または携帯電話・メールの受送信行為は、厳に慎むこと。減点対象となります。なお遅刻3回で欠席1とみなします。
- 開講日に詳細を説明しますので、正当な理由なしに初回講義を欠席することがないようにしてください。

## 【評価方法】

- Midterm/Final Examinations 40%
- Review Quizzes 30%
- Vocabulary Notebook 20%
- In-class Contributions 10%

## 【テキスト】

『伝えるための英文法・英作文-Grammar for Communication-Weaving It All Together-』朝日出版。朝野書房にて販売します。

## 【参考文献】

講義の中で適時紹介します。



## English Grammar I

担当教員 島袋 美智子

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

英語の理解、発話に文法は必須です。

まず基本的な文法事項を学び、ブレインストーミングを行い、練習問題をペアワーク、グループワークで行います。読み物を使用し単語力増強を図ります。リーディングにおける素早い理解力養成を目指します。

## 【授業の展開計画】

第1週 英語の文法について、単語増強について、学習メソッドについて説明。

(メソッドは良い学習習慣のために重要と考えますので最初の週をミスしないこと)  
2-3週ごとにシラバスを配布しますので学習の予習に役立ててください。

第2週～7週、9週～15週

1) 文法事項について学び、様々な例文を発話する。練習問題はペア、もしくはトリオで行う。

内容は構築中です。クラス内シラバスで説明いたします。

2) CDを用いたリーディング強化（文法事項を読み物で確認する）

※質問はクラス内で随時受付ますので、疑問を残さないようにしてください。

第 8週 中間テスト（予定）

第16週 期末テスト（予定）

## 【履修上の注意事項】

1. 出席を重視する。
2. 遅刻は原則認めない。理由如何で4分まで認める。それ以降は欠席扱いとする。
3. 毎回宿題、課題を出すため、予習復習を心がける。宿題はやってきたものとして授業を進める。
4. 授業には講義用ノート、資料用ファイル、英和、和英辞書を持参する。
5. 単語、フレーズノートを作成すること。

## 【評価方法】

中間テスト30%、期末テスト30%、出席・授業参加40%

## 【テキスト】

クラスのレベルを確認後、追って連絡いたします。文法書、リーディング用テキストそれぞれ1個を予定。

## 【参考文献】

20万語以上を有する英語辞書

## English Grammar II

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

英文法の基礎である「5文型」及び「句と節」を学ぶ。同時に、辞書の詳しい使い方を学ぶ。すなわち、複雑な英文でも、文構造を理解し、正しい辞書の使い方を理解することにより、どのような英文でも意味がわかるようになることが本講義の目的である。

## 【授業の展開計画】

指名による質問、問題の解答などを中心に講義を進めるが、重要なことは、「自分自身で文の構造を説明することができる」ことである。そのため、質問には「説明できるレベルまで理解していること」を示すように解答すること。

## 【履修上の注意事項】

2010年度前期にEnglish Grammar I（追立クラス）を受講した学生は、内容が重複するため、受講不可。

## 【評価方法】

中間試験：33%、期末試験：33%、個人指名による質問への解答など：33%

## 【テキスト】

プリント教材を使用する。

## 【参考文献】

特になし。

## English Grammar II

担当教員 仲里 和花

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

目的：既習の基本的な文法事項を復習・再確認させ、練習問題等を通して、コミュニケーションの活用につなげる。

## 【授業の展開計画】

1. テキストは100unitで構成されている。各Unitを各学生に割り当て、割り当てられたunitの文法事項について各学生はプレゼンテーションを行う。テキストをそのまま説明してもよいし、その他の参考書を使って説明してもよい。
2. 授業では、文法の練習問題Practiceを全員で解答していく。各学生は、自宅で前もって、Practiceを解いてくること。
3. 講師が作成する練習問題を各自、解いて、全員で解答する。

## 【履修上の注意事項】

1. 授業には時間通りに出席すること。20分以上、遅刻した場合は欠席とみなす。授業日数の3分の1（約10回）以上、欠席した場合は、不可とみなす。
2. 英日・日英辞書を持参すること。
3. 携帯電話は、教室内ではスイッチを切っておくこと。机の上にも置かない。
4. 授業中、喫煙や携帯電話で話すために席を離れることを禁ず。

## 【評価方法】

授業態度	20%	優	80点以上
練習問題	15%	良	70点以上80点未満
プレゼンテーション	15%	可	60点以上70点未満
中間・期末試験	50%	不可	60点未満
	100%		

## 【テキスト】

PRACTICAL GRAMMAR Level 3 by John Hughes and Ceri Jones (HEINLE Cengage Learning)

## 【参考文献】

『総合英語』be update 鈴木希明 編著 (いいずな書店)

## English Grammar II

担当教員 西原 幹子

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講では、English Grammar I で学んだ基礎知識をもとに、さらに複雑な表現ができるようになることを目指します。授業では、英文法に関する練習問題を数多くこなすことにより、応用力を身に付けていきます。

## 【授業の展開計画】

プリント教材を用い、毎回一項目ずつ進みます。知識の定着をはかるために、月一回のペースで確認小テストを行います。あわせて、長文や複雑な英文を読む訓練も適宜行う予定です。

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

学期末テスト（90%）、課題および小テスト（10%）の結果で評価します。

## 【テキスト】

プリントを配布します。

## 【参考文献】

『英文法解説』江川泰一郎著、金子書房

## English for Special Purposes

担当教員 ーロビソソ ーサイソ

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

In this course the students will begin to develop their ability to give their opinion and then debate that opinion with their classmates. They will also develop critical thinking skills and consider issues of social importance in the world around them.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introducing Presentation Skills	17	Agree and Disagree points
2	Self-introduction presentations	18	Debate
3	Introducing Opinion presentations	19	Student Opinions - Group 4 presentations
4	Introducing Debate	20	Hot seat - talking about the topic
5	Introducing Debate Pt2	21	Agree and Disagree points
6	Finding opinions	22	Debate
7	Student Opinions - Group 1 presentations	23	Student Opinions - Group 5 presentations
8	Hot Seat - talking about the topic	24	Hot Seat - talking about the topic
9	Agree and Disagree points	25	Agree and Disagree points
10	Debate	26	Debate
11	Student Opinions - Group 2 presentations	27	Exam Preparation 1 - choosing a topic
12	Hot Seat - talking about the topic	28	Exam Preparation 2 - agree and disagree
13	Agree and Disagree points	29	Exam Preparation 3 - paired practice
14	Debate	30	Exam Day 1 (groups 1-3)
15	Student Opinions - Group 3 presentations	31	Exam Day 2 (groups 4-5)
16	Hot Seat - talking about the topic		

## 【履修上の注意事項】

Students will need to spend time preparing and practicing their Opinion presentations, and will need to research the debate topics in preparation for the Debate lessons.

## 【評価方法】

Evaluation is based on attendance (10%), participation (10%), a presentation in which they give an opinion (40%), and a final exam in which the students will have a ten-minute debate with the teacher (40%).

## 【テキスト】

No textbook is prescribed for this course.

## 【参考文献】

## English for Special Purposes

担当教員 -東恩納 ミシェル

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

Description: This course is designed to help students gain skills in self-expression in English. Students will learn the language of discussion and debate, gain presentation skills, and develop critical thinking skills. Timely topics will be discussed related to personal and social issues. These will include such topics as: technology, disagreements and compromise, national pride and immigration, careers, societal roles, war, relationships, fashion and self improvement and family.

### 【授業の展開計画】

Please note: As this is an oral ENGLISH class your instructor will speak only English during the class period. Please use English as much as possible in class. Please do not chat with your conversation partners in Japanese during the class period. Expect to spend several hours OUTSIDE of class time preparing for your presentations and exams, and doing homework.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to language of discussion
2	Introduction to language of discussion
3	topic selection
4	topic 1
5	topic 2
6	topic 3
7	speech preparation
8	speech presentations
9	topic 4
10	topic 5
11	topic 6
12	debate preparation
13	debate presentations
14	topic 7
15	group discussions preparation
16	group discussions presentations

### 【履修上の注意事項】

All notes for class will be taken by students provided orally by instructor.

### 【評価方法】

1. Persuasive Speech 20%, 2. Debate 20% 3. group discussion 20%, 4. Daily attendance and participation 30% 5. Homework 10%. If you are absent 10 times you cannot pass this course. Being late to class three times equals one absence.

### 【テキスト】

Impact Issues 3 - 20 stimulating issues for discussion and debate in English  
Pearson Longman  
ISBN 978-962-01-9932-5

### 【参考文献】

A. Facebook group postings. Five - one paragraph postings over the course of the semester. OR B. Listening 1. Randall's Cyber Listening Lab [www.esl-lab.com/](http://www.esl-lab.com/) 2. ELLLO [www.ello.org/english/home.htm](http://www.ello.org/english/home.htm)  
3. VOA [www.voanews.com/english/news/](http://www.voanews.com/english/news/) 4. National Geographic [www.nationalgeographic.com/](http://www.nationalgeographic.com/)

## English Writing II

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

Students will study the mechanics of writing in English. Strengthening and building upon their current level, students will be taught different styles of writing through a wide variety of interesting and thought provoking topics.

## 【授業の展開計画】

The class will follow the contents of the assigned textbook.

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

75% of grades in this course shall be attained through continuous assessment. Students will be expected to turn in 6 final draft assignments. The remaining 25% will be based on attendance and participation.

## 【テキスト】

## 【参考文献】

## English Reading I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

音読・速読の練習をする。

### 【授業の展開計画】

毎回前半は音読の練習、後半は速読の練習をする。

### 【履修上の注意事項】

1. 辞書を必ず持参すること。 2. 遅刻しないこと。 3. 無断欠席をしないこと。 4. 携帯電話の電源を切ること。 5. 居眠りをしないこと。 6. 私語をしないこと（私語をすると退室）。

### 【評価方法】

毎回音読をしてもらい評価するとともに速読のテストで評価する。

### 【テキスト】

プリント教材を準備する。

### 【参考文献】

その都度紹介する。



## English Reading I

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

精読と多読を通して語彙力と読解力の強化を図ります。

### 【授業の展開計画】

授業前半は様々なパッセージの精読、後半は多読を行います。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席、遅刻をしない  
(遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします。1/3以上欠席の場合単位は認められません。)
- (2) グループごとに座る
- (3) 辞書持参

### 【評価方法】

授業態度（出席率、積極性、発言）、クイズ、提出物を総合的に評価します。

### 【テキスト】

授業の中で連絡します。

### 【参考文献】

## English Reading I

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

この授業では精読と概要把握のふたつの読み方を身につけることを大きな目標とする。題材は時事英語、比較文化、名スピーチ、沖縄の社会文化など幅広い分野のものを扱う予定である。授業では文法、表現、背景的知識などを詳しく見ながら正確な内容理解に努めるとともに、それぞれの題材について自分なりに考え、英語で意見、疑問、感想などを述べる練習をする。

## 【授業の展開計画】

授業開始時にシラバスを配布する。

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 電子辞書を持ってくること
- (3) シラバスに基づき、必ず予習をして授業に臨むこと（予習には音読を含む）
- (4) 私語、居眠りをしないこと
- (5) 教室では携帯電話等の電源を切ること

## 【評価方法】

出席、課題・提出物、授業態度、授業への貢献度、テストの結果など総合的に評価する。

## 【テキスト】

選定中

## 【参考文献】

適宜配布する。

## English Reading II

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

音読・速読の練習をする。

### 【授業の展開計画】

授業の前半は音読の練習、後半は速読の練習をする。

### 【履修上の注意事項】

1. 英和辞書を必ず持参すること。 2. 遅刻をしないこと。 3. 無断欠席はしないこと。 4. 携帯電話の電源は切ること。 5. 居眠りをしないこと。 6. 私語をしないこと（私語をすると即退室）。

### 【評価方法】

毎回の音読発表で評価するとともに2回の速読のテストをする。

### 【テキスト】

プリント教材を準備する。

### 【参考文献】

その都度紹介する。

## English Reading II

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前期に引き続き多読・速読により語彙力、読解力を強化を図ります。

### 【授業の展開計画】

授業前半は、語彙力問題と様々なトピックの精読をペア・グループ単位で行い、授業後半は前期に引き続き個々のペースで多読を行います。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席、遅刻をしない  
(遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします。1/3 以上欠席の場合単位が認められません。)
- (2) 辞書持参
- (3) 指定の席に座る

### 【評価方法】

出席状況、クイズ、提出物（リーディングログ）を総合的に評価します。

### 【テキスト】

授業の中で連絡します。

### 【参考文献】

## English Reading II

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

この授業では前期のEnglish Reading Iに引き続き、精読と内容把握のふたつの読み方をさらに磨くとともに、多読にも挑戦する。題材は、比較文化、英米の言語文化、沖縄の社会文化など、幅広いものを扱う予定である。授業では文法、表現、背景的知識などにも目を向けながら、それぞれの題材について、要点、意見、疑問、感想などを英語で述べる練習をする。

## 【授業の展開計画】

授業開始時にシラバスを配布する。

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 電子辞書を持ってくること
- (3) シラバスに基づき、必ず予習をして授業に臨むこと（予習には音読を含む）
- (4) 私語、居眠りをしないこと
- (5) 授業中は携帯電話等の電源を切ること

## 【評価方法】

出席、宿題、授業態度、授業への貢献度、テストの結果などから総合的に評価する。

## 【テキスト】

授業開始時に指示する。

## 【参考文献】

適宜配布する。

## インターネット英語

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

My main aim is to challenge students to become actively involved in the English world of the Internet. Students will be expected to take the initiative in writing blogs, creating their own pages, listening to podcasts, chatting with others, posting on bulletin boards, and choosing their own creative ways to be involved on the Internet.

## 【授業の展開計画】

Students will work individually but will interact with classmates and outsiders through the Internet. All class assignments will be posted on the class homepage. Here are some of the activities that we will do during class:

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to class, opening new e-mail accounts, setting up group pages, etc.
2	Setting up one's own webpage, making contacts
3	Social networking (Facebook)
4	Reading and writing blogs (Blogster.com, etc.)
5	Posting on bulletin boards
6	On-line chat (OIU VIVA site, Facebook, etc.)
7	StoryCorps (Listening to stories)
8	Yahoo! Answers / Twitter
9	Listening to podcasts
10	Watching English videos (YouTube)
11	Watching English videos (TED) with English captions
12	On-line English Tests (TOEIC, TOEFL, etc.)
13	On-line English Tests (TOEIC, TOEFL, etc.)
14	Quizlet, Rikai.com, and other sites for studying English
15	On-line vocabulary study and English games
16	English study through song lyrics

## 【履修上の注意事項】

Students are assumed to have a basic understanding of how to use the Internet, but instruction will be provided if needed. All work should be done in English. Visiting non-English sites will result in an automatic deduction in the final grade.

## 【評価方法】

On-line folders will be evaluated three times during the semester, and the three grades will be averaged together to calculate the final grade. Students are expected to submit a 100-word absence report for each class missed, but still must attend more than 75% of all classes. Students are reminded to save a copy of everything that they post to the "My Posts" folder in their yahoo.com mail account page.

## 【テキスト】

No textbook is required for this class. However, students are encouraged to bring an electronic dictionary to every class.

## 【参考文献】

The address for our group page is as follows:  
<http://groups.yahoo.com/group/OIUInternetEnglish/>

## 英語音声学

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This course combines theory and practice in articulatory phonetics with a focus on the basic concepts of English speech sounds.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	The Vocal Organs; Sound Classes
3	Consonants: Places of Articulation
4	Consonants: Manners of Articulation
5	Vowels: Articulation & Classification
6	The Transcription of English Vowels & Consonants
7	Consonant & Vowel Charts; Midterm Exam
8	The Syllable
9	Accent
10	Rhythm
11	Coarticulation & Other Phonological Processes
12	Intonation (1)
13	Intonation (2)
14	World Englishes (1)
15	World Englishes (2)
16	Final Exam

## 【履修上の注意事項】

No particular requirements.

## 【評価方法】

Attendance, Class Participation & Homework (50%). Mid-term & Final Exams (50%).

## 【テキスト】

To be announced in class.

## 【参考文献】

## 英語学概論

担当教員 新垣 實

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

英語学概論とは、アメリカ人やイギリス人が乳幼児のころから習い覚える英語の言語習慣や規則の体系を音声、語彙、文、意味などの角度から総論的に勉強する学問分野です。英語を単なるコミュニケーションツールとしてではなく、そのしくみを科学的に分析し記述する方法論を学び、英語に対する言語学的理解を深めることを目指します。

### 【授業の展開計画】

第1週 言語と言語学  
第2週 英語と英語学  
第3週～第4週 音韻論  
第5週～第7週 形態論  
第8週 中間試験  
第9週～第11週 統語論  
第12週 第13週 意味論  
第14週 語用論  
第15週 英語の歴史  
第16週 期末試験

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

受講態度、宿題、中間・期末、出欠などを総合的に勘案し評価する。

### 【テキスト】

プリント教材などを準備

### 【参考文献】

参考図書もそのつど紹介します。



## 英語学特殊講義

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講義では、英語と日本語の言語現象を通して、言語使用に関するメカニズムを語用論的視点から学ぶことを目的とする。語用論の基礎を学び、発話者がどのように言葉を使っているか、またどんな時に誤解や不快感が生じるのかを分析する。更に、外国語学習や異文化理解への応用について考える。

## 【授業の展開計画】

開講時まで塾考するためTBA。尚、参加者数に応じて授業形式を柔軟に変えることもある。

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション
2	言語学習 vs. 言語運用
3	語用論とは何か
4	発話行為 (1)
5	発話行為 (2)
6	発話行為 (3)
7	会話の含意 (1)
8	会話の含意 (2)
9	ポライトネス (1)
10	ポライトネス (2)
11	ポライトネス (3)
12	異文化間語用論
13	中間言語語用論 (1)
14	中間言語語用論 (2)
15	研究計画 (1)
16	研究計画 (2)

## 【履修上の注意事項】

特になし。

## 【評価方法】

出席率・授業参加態度 (50%) 口頭発表・課題提出 (50%)

## 【テキスト】

講義内で連絡する。

## 【参考文献】

## 英語教育学

担当教員 野口 正樹

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

本講義は、2年次後期（旧カリ3年前期）履修の英語科教育法Ⅰの introduction になります（従って、英教法履修予定者は“原則”受講することが望ましいです）。英語科教育の現状を overview し、問題点を把握します。そして、今後目指すべき英語科教育の方向性を明らかにします。講義の前半45分は指定 group が略式 presentation を行います。「わかる」段階に留まらず、「使える・説明できる」段階を模索します。後半45分は、授業者が例示や解説を行い、受講者の疑問に答えます。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・途中退出は一切認められません。正当な理由がある場合、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation（group 毎）
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 英語教育教材研究

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

本講義は、英教法Ⅰの実践編及び英教法Ⅱの補足編になります。従って、英教法履修者は、“原則”履修することが望ましいです。文部科学省検定中学・高校教科書を取り上げ、抽出した各 section/lesson の題材を分析し、理想的な教材を作成します。flash/picture cards の作り方、target sentences の導入・理解・運用を目指す各種活動、復習・定着・まとめの ideas、黒板・教室の使い方、音楽・照明・PC・screen の活用等、教室内外のあらゆる素材を利用して、学習者の異文化コミュニケーション能力と心の豊かな人格の陶冶を図ります。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡ください。
- ③ 課題は、期限までに毎時完成させましょう。
- ④ 携帯電話は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 教材作成

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 英語教育特論

担当教員 池野 修

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 その他

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 夏期集中講義（世話役：野口正樹）

## 【授業のねらい】

(1) 「(英語) コミュニケーション」「(英語) コミュニケーション活動」について原理的に考察することを通して、これらの概念に対する理解を深める。(2) 英語コミュニケーションの基礎作りのための諸活動を英語学習者として体験し、英語教授者として自らの活動レパートリーを豊にする。(3) 英語による自己表現活動の多様な実践に触れ、それぞれの活動の意義や実施上の留意点などについて理解する。(4) 「英語の学習意欲」について、意欲を高める／低下させる要因について理解し、学習意欲について多面的に考察するための様々な視点を獲得する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	英語の音作り
2	「コミュニケーション(活動)」と何か
3	英語コミュニケーションの土台を作る学習活動(1)
4	英語コミュニケーションの土台を作る学習活動(2)
5	Reproducing活動(e.g. Read & Tell, Story Retelling)
6	リーディング活動のバリエーション(1)
7	リーディング活動のバリエーション(2)
8	技能教育&人間教育としての自己表現活動(1)
9	技能教育&人間教育としての自己表現活動(2)
10	Opinion gap / imagination gap の活用
11	英語ディスカッション活動
12	簡易ディベート
13	英語学習意欲に関するエピソードの分析
14	英語学習意欲を高める／低下させる要因
15	英語学習意欲を高めるための方略
16	まとめとレポート課題

## 【履修上の注意事項】

この授業は(教員による講義ではなく)受講生による活動が中心になるので、受講される方は、積極的に活動に参加する、授業に自らが貢献するという強い意志を持って下さい。

## 【評価方法】

- (1) 平常点(出席と授業活動への参加) (70点)
- (2) レポート(30点)

## 【テキスト】

## 【参考文献】

特になし

**英語圏社会文化特殊講義**

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

**【授業のねらい】**

This class is intended to give students an opportunity to explore and question issues relating to society and culture in parts of the world outside Britain and the United States where the English language serves some function.

**【授業の展開計画】**

In collaboration with the teacher, students will be expected to produce a bilingual group project and a final individual report (in English) focusing on an area of their choice.

A number of themes will be proposed, but these are highly negotiable.

**【履修上の注意事項】**

\* For scheduling reasons, I would like to advise students who are taking this class not to register for イギリスの社会と文化.

\* Communication of ideas will take precedence over medium of communication.

**【評価方法】**

Assessment will be based on the following:

\* assignments relating to course content

\* attendance and participation

**【テキスト】**

No textbook is required for this class. Instead, students will be expected to find information from a variety of sources.

**【参考文献】**

## 英語情報処理 I

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 1年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This is an introductory course in information processing for English majors. The language of instruction in this course is primarily English, and secondarily Japanese. Wherever possible, English language versions of software are used. In this course we will be introduced to computer spreadsheets, presentation techniques using PC software, databases, and word processing for academic and business purposes.

### 【授業の展開計画】

This course provides English major students with the fundamentals of:

- 1) computer hardware
- 2) operating systems and user interfaces
- 3) file systems
- 4) networking
- 5) eMail and social networking
- 6) computer graphics
- 7) eLearning fundamentals
- 8) deep Internet searching and data mining

### 【履修上の注意事項】

As each class session builds upon what was presented in the previous one, class participation is essential in this course. Students who miss classes are responsible for getting their own lecture notes.

### 【評価方法】

Mid-term exam: 40%

Final report: 60%

### 【テキスト】

大串夏身、文科系学生のインターネット検索術、青弓社、2001年

### 【参考文献】

Any good paper or electronic English-Japanese / Japanese-English dictionary.

## 英語情報処理 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講座は、キーボード練習によるブラインドタッチをマスターすることから始め、最終的には外資系企業など国際的環境の職場で実際に作成する英文書類を作成する能力を身につけることを目的とする。進め方は、実際の書類を教材に演習を行っていく。使用ソフトはMicrosoft WordやPowerPointが中心である。演習にあたっては、常に10本の指をフルに使ったブラインドタッチの基本を忘れないようにすることが大切である。単に与えられた教材を真似て作るだけでなく、全体のフォーマットや状況を考えながら、習得することが重要である。

## 【授業の展開計画】

1週目	講義内容の説明、導入
2週目	ブラインドタッチ演習・初級～中級
3週目	ブラインドタッチ演習・上級
4週目	入力速度測定
5週目	段組のある雑誌記事での入力演習
6週目	学級プロジェクトその1〈パワーポイント使用〉
7週目	学級プロジェクトその2〈パワーポイント使用〉
8週目	文書作成：ビジネスレター、英文履歴書
9週目	実地的ビジネスレターの作成
10週目	筆記体からのビジネスレターの作成
11週目	メモ書きを基にした実地的書類作成
12週目	和文英訳をしながらのレター作成
13週目	ワード機能をフルに使った演習
14週目	英文履歴書等の課題の仕上げ・印刷
15週目	期末試験
16週目	提出物・成績最終確認

## 【履修上の注意事項】

やむを得ず欠席する場合は、所定の欠席届を提出のこと。ただし、欠席届の理由が正当と認められない場合もある。病院や薬局の領収証の写しを提出した場合は「病欠」と認められる。顧問の教官の書面を提出したものについては、「公欠」と認められる。

## 【評価方法】

出席30%、入力速度測定10%、作成文書や宿題等の提出物50%、期末試験10%、その他+/-5%の配分で評価する。その他とは、授業への貢献度や態度などを含む。演習を中心の授業なので、評価の配分は試験より実践のほうがはるかに高い。学生には、とにかく毎回出席して、与えられた課題をこなし提出することが望まれる。

## 【テキスト】

使用せず。毎回練習用プリントを配布し、説明の後演習を行う。

## 【参考文献】

## 英語情報処理 I

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講義は、資料収集、まとめ、発表などに必要なパソコン操作の基本技能を習得することを目的に、Word 2007, Excel 2007, PowerPoint 2007を使って実践的な演習を行います。また課題をこなす中で英文のブラインドタッチのマスターおよび入力速度の向上も図ります。その他パソコンを使った総合的な演習を通じて、学生生活に必要な情報処理技術を身に付けます。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	大学メールおよびシステムの活用
3	コンピュータの基礎：文字入力
4	コンピュータの基礎：フォルダ・ファイル
5	ネットワーク利用：インターネット利用
6	ネットワーク利用：インターネット上のファイルやソフトの利用
7	ネットワーク利用：メールの利用
8	ネットワーク利用：情報モラル
9	Word 2007：基本操作
10	Word 2007：書式設定基礎
11	Word 2007：書式設定応用
12	Word 2007：表・図・写真の追加(1)
13	Word 2007：表・図・写真の追加(2)
14	Word 2007：演習
15	Word 2007：演習
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

- ・演習ごとに必要な項目を講義するため、授業計画内容は前後する場合があります。
- ・具体的な課題を一つ一つこなしていくことがコンピュータ技能の習得につながります。また継続した学習が求められますので出席も重視されます。毎時の課題をこなすだけでなく、いかにして効率よく正確に作業を行えるかを常に意識することが大切です。自主的・積極的な学習態度と、パソコン操作の疑問点について自ら調べたり周りに質問したりする姿勢が求められます。

## 【評価方法】

- ・評価は毎時の課題提出と期末試験と出席が主な対象となります。
- ・一週間に1回しか授業がないので（全15回の授業）必ず全ての授業を受けてください。5回以上休んだ時点で期末試験の受験資格を失います。

## 【テキスト】

矢野文彦監修「情報リテラシー教科書 -インターネット・Word・Excel・PowerPoint-」オーム社開発部

## 【参考文献】



**英語情報処理Ⅱ**

担当教員 ダグラス トライスカット

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

**【授業のねらい】**

This is an introductory course in information processing for English majors. The language of instruction in this course is primarily English, and secondarily Japanese. In this course we will be introduced to computer spreadsheets, database management software, presentations techniques using presentation software, and word processing for both business and academic purposes.

**【授業の展開計画】**

This course provides English major students with the fundamentals of:

- 1) spreadsheet software
- 2) database management software
- 3) presentations techniques using presentation software
- 4) word processing for business
- 5) word processing for academic purposes

**【履修上の注意事項】**

As each class session builds upon what was presented in the previous one, class participation is essential in this course. Students who miss classes are responsible for getting their own lecture notes

**【評価方法】**

- 1) a spreadsheet file - 5%
- 2) a database file - 10%
- 3) one presentation using Powerpoint - 40%
- 4) one academic report using Word - 40%

There will also be one quiz on netiquette, copyright infringement, and privacy. - 5%

**【テキスト】**

Maran, Ruth. Office 2007 Simplified

**【参考文献】**

Any good paper or electronic English-Japanese / Japanese-English dictionary.

## 英語情報処理Ⅱ

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講義は、前期の英語情報処理Ⅰで学んだパソコンの基本操作から発展させ、資料収集、まとめ、発表などに必要な関連ソフトの習得を目指します。またインターネットを活用した各種ツールを紹介しながら、より実践的な演習を行います。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	Excel：基本操作
3	Excel：関数の利用
4	Excel：見やすい表の作成
5	Excel：グラフの利用
6	Excel：少し高度な関数
7	Excel：データベース
8	Excel：知っていると便利な機能
9	Excel：総合演習
10	PowerPoint：プレゼンテーション
11	PowerPoint：スライド作成
12	PowerPoint：スライドの組み立て
13	PowerPoint：スライドの仕上げ
14	PowerPoint：スライド提示
15	PowerPoint：総合演習
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

- ・演習ごとに必要な項目を講義するため、授業計画内容は前後する場合があります。
- ・基礎的なキーボード入力ができることを前提としているので、履修する学生は情報基礎Ⅰを修了していることが望ましいです。
- ・毎時の課題をこなすだけでなく、いかにして効率よく正確に作業を行えるかを常に意識することが大切であるためパソコン操作の疑問点について自ら調べたり周りに質問したりする姿勢が求められます。

## 【評価方法】

- ・評価は毎時の課題提出と期末試験と出席が主な対象となります。
- ・一週間に1回しか授業がないので（全15回の授業）必ず全ての授業を受けてください。5回以上休んだ時点で期末試験の受験資格を失います。

## 【テキスト】

矢野文彦監修「情報リテラシー教科書 -インターネット・Word・Excel・PowerPoint-」オーム社開発部

## 【参考文献】

## 英語情報処理Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講座の主な目的は、外資系企業など国際的環境の職場で実際に作成する書類を英語で作成する能力を身につける為のコースである。進め方としては、実際の英文書類を教材として、作表やグラフ作成などの演習を行っていく。インターネットも活用するが、使用ソフトはMicrosoft Excelが中心である。演習にあたっては、単にワープロ感覚で作表するのではなく、様々なデータ処理機能を活用しながら、書類を作成する能力を身につけることが大切である。

## 【授業の展開計画】

- 1週目 講義内容の説明、導入
- 2週目 アドレス帳の作成
- 3週目 単語帳の作成とインターネットの活用
- 4週目 日程表の作成
- 5週目 作表：Company's Report Their Earnings + Monthly Income
- 6週目 作表：Nikkei 225 Futures
- 7週目 作表+グラフ作成：Statistics on Japanese Population + 人生カレンダー
- 8週目 作表+グラフ作成：Expenditure Analysis
- 9週目 複雑な体裁を整える演習：Voice Messaging Matrix
- 10週目 作表：Import Calculation <前編>
- 11週目 作表：Import Calculation <後編>
- 12週目 作表：成績表<前編>
- 13週目 作表：成績表<後編>
- 14週目 特別講義：試験の傾向と対策 + 成績シミュレーション + 授業評価アンケート
- 15週目 期末試験
- 16週目 特別講義：提出物・成績最終確認・追加作業

## 【履修上の注意事項】

基礎的なキーボード入力ができることを前提としているので、履修する学生は情報基礎Ⅰを修了していることが望ましい。欠席する場合は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

## 【評価方法】

出席35%、提出物35%、宿題15%、期末試験15%、その他+/-5%の配分で評価する。その他とは、授業への貢献度や態度などを含む。実践的演習を中心に行う授業なので、評価の配分は試験よりも日頃の実践のほうが高い。また、提出期限を過ぎてからの提出物については、一日の遅れにつき1.5ポイントの減点となる。従って、課題を貯めて、期末に提出しても意味がない。とにかく学生は毎回出席して、授業に集中し、与えられた課題をこなして期限内に提出することが望まれる。

## 【テキスト】

使用せず。毎回練習用プリントを配布し、説明の後演習を行う。

## 【参考文献】

図書館所蔵の各種Microsoft Office マニュアル本

## 英語情報処理Ⅲ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

この授業では大学で必要な情報処理の基礎知識と技能を身につける。情報アーキテクチャと情報組織化を基礎としたウェブサイトを構築する方法を学習し、イントラネットやインターネットでユーザに情報を提供する為に必要な知識と技術を習得する。授業でウェブサイトを実際に開発しながら情報処理術を学ぶ。

### 【授業の展開計画】

1. ウェブサイトのしくみ
2. 情報アーキテクチャの概要 1
3. 情報アーキテクチャの概要 2
4. 情報の組織化
5. ナビゲーションの設計
6. ラベリングシステム
7. イラストレーションソフト入門
8. 画像処理ソフト入門 1
9. 画像処理ソフト入門 2
10. HTML入門 1: Basic Tags
11. HTML入門 2: Images
12. HTML入門 3: Tables
13. HTML入門 4: Links
14. HTML入門 5: Lists
15. HTML入門 6: Page Layout

### 【履修上の注意事項】

課題は全部提出すること。無断欠席に注意。

### 【評価方法】

テスト 20%

課題: Web page project - 80%

### 【テキスト】

Rosenfeld and Morville共著, 篠原稔和 監訳、情報アーキテクチャ入門、1998, オライリー・ジャパン.

### 【参考文献】

\* HTMLタグ辞典

\* Steve Krug, ウェブサイトユーザビリティの法則、2001, SoftBank Publishing.

\* Jesse James Garrett, The Elements of User Experience, New Riders, 2003.

## 英語情報処理Ⅳ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

この授業では大学で必要な情報処理の基礎知識と技能を身につける。情報アーキテクチャと情報組織化を基礎としたウェブサイトを構築する方法を学習し、イントラネットやインターネットでユーザに情報を提供する為に必要な知識と技術を習得する。授業でウェブサイトを実際に開発しながら情報処理術を学ぶ。

### 【授業の展開計画】

1. 検索システムとウェブサイト
2. ユーザの調査
3. 概念によるデザイン
4. 制作と作業工程
5. アーキテクチャの事例研究
6. 高度なHTMLテクニック
7. イラストレーション作成と画像処理テクニック
8. Flashアニメーションテクニック
9. Javascript入門
10. データベース入門 1
11. > CFML入門
12. ウェブページ作成テクニック 1
13. ウェブページ作成テクニック 2
14. ウェブページ作成テクニック 3
15. ウェブページ作成テクニック 4

### 【履修上の注意事項】

課題は全部提出すること。無断欠席に注意。

### 【評価方法】

Student will be evaluated on their contributions to a group website construction project. The project will be evaluated on: 1) content - 20%, 2) graphic design - 20%, 3) usability, ease of navigation - 20%, 4) information architecture - 20%, 5) interactivity - 20%

### 【テキスト】

- ・ J. M. スプール、et. al.、Webサイトユーザビリティ入門、2002、東京電機大学出版局。
- ・ ヤコブ・ニールセン、ユーザビリティエンジニアリング原論、2002、東京電機大学出版局。

### 【参考文献】

- ・ Rosenfeld and Morville共著、篠原稔和 監訳、情報アーキテクチャ入門、1998、オライリー・ジャパン。
- ・ Jesse James Garrett, The Elements of User Experience, New Riders, 2003.
- ・ Steve Krug, ウェブサイトユーザビリティの法則、2001、SoftBank Publishing.

## 英米演劇概論

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本講では、英米の演劇史の流れを概観しながら、代表的な作品をいくつか取り上げます。劇作品は小説とは異なり、舞台上で演じられることを前提として書かれているため、セリフを手掛かりにして、立体的な舞台を想像しながら読んでいくという面白さがあります。それぞれの時代の歴史的、文化的特徴について解説をくわえながら、演劇の表現形態がどのように変化してきたのかを見ていきます。

### 【授業の展開計画】

- 1週目 講義内容の説明
- 2週目 イギリス中世演劇
- 3～5週目 シェイクスピアと大衆演劇
- 6～7週目 サヴォイ・オペラ
- 8～10週目 風習喜劇：Oscar Wilde の作品読解
- 11週目 アメリカ大衆演劇
- 12～14週目 アメリカ家庭演劇：Tennessee Williams の作品読解
- 15週目 現代演劇

### 【履修上の注意事項】

作品読解の際には、グループ発表の形式を取ります。

### 【評価方法】

学期末試験60%、授業への貢献度40%

### 【テキスト】

プリントを配布する。

### 【参考文献】

講義のなかで適宜紹介する。

## 英米詩概論

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

本講では、英米の代表的な詩人たちによる作品をいくつか読みます。日常の使い慣れた言葉では表現しがたい事柄を、英米の詩人たちがどのように表現しているのか、時代背景の理解とともに、探っていきます。

### 【授業の展開計画】

英米の代表的な詩人の作品をそれぞれ一編ずつ鑑賞する予定です。グループ発表も取り入れます。

- 1週目：講義説明
- 2週目：詩のコンベンション、リズム
- 3週目：Edmund Spenser
- 4週目：William Shakespeare
- 5週目：John Donne
- 6週目：Alexander Pope
- 7週目：William Blake
- 8週目：S.T. Coleridge
- 9週目：Nursery Rhyme
- 10週目：Edgar Allan Poe
- 11週目：Emily Dickinson
- 12週目：T.S. Eliot
- 13週目：Hart Crane
- 14週目：Sylvia Plath
- 15週目：Judith Wright
- 16週目：試験

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

学期末試験（60％）、授業への貢献度（40％）

### 【テキスト】

プリントを配布します

### 【参考文献】

講義のなかで適宜紹介します

## 英米社会文化特論

担当教員 ーハインリッヒ・パトリック

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考 夏期集中講義（世話役：ピーター・シンプソン）

開講時期 その他

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

もし、ある多言語社会において、多言語性に対する敵意が強まれば、支配言語以外の言語が全て絶滅の危機に瀕する。それゆえに、言語危機（language endangerment）の研究は、言語と社会との相互関係を把握できる研究を必要とする。このコースでは、沖縄の状況が詳細に議論される前に、言語危機に関する基本的な理論と方法論が教えられる。また、沖縄に関する社会言語学上の共同調査を実施する。このコースの参加者は、国際的な学問方法論に基づき、琉球諸語の危機とそれに対して実行できる対策を議論することができるようになる。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	世界の言語と言語危機
2	言語消失では何が失われた？言語記録保存には何が記録されている？
3	ビデオとディスカッション：The Linguists
4	言語と方言
5	1940年の沖縄における「方言論争」
6	ビデオとディスカッション：しまくとぅばは言語か方言か
7	沖縄における言語消失
8	言語危機度の把握：ユネスコの枠組
9	ビデオとディスカッション：比嘉光龍の活動
10	沖縄における言語シフト
11	調査の準備・方法論
12	調査：モノレールに沿った言語の選択
13	言語危険のダイナミックス
14	ハワイと沖縄における言語維持と復興
15	現在の琉球諸語の研究とこれからの研究課題
16	ディスカッション

### 【履修上の注意事項】

ディスカッションや、木曜日の午後における共同調査の参加は必須です。

### 【評価方法】

成績は、三つの小さな宿題と共同調査の努力によって決められる。

### 【テキスト】

### 【参考文献】

パトリック・ハインリッヒ、松尾慎編著『東アジアにおける言語復興：中国・台湾・沖縄を焦点に』三元社  
 沖縄大学地域研究所編『琉球諸語の復興』芙蓉書房出版 2013



## 英米小説概論

担当教員 吉田 兼次

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

イギリス・アメリカの小説の傑作をできるだけ多く読みながら、小説を読み解く分析力を養う。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	登録調整 評価方法の説明 講義開始	17	A Rose for Emilyを読む。
2	Evelineを読む。	18	A Rose for Emilyの試験
3	Evelin, Arabyを読む。	19	A Short Happy Life of...を読む。
4	Araby, The Garden Partyを読む。	20	A Short Happy Life of...を読む。
5	Araby, Evelinの試験	21	A Short Happy Life of...を読む。
6	The Garden Party, The Dove's Nest	22	A Short Happy Life of...の試験
7	The Dove's Nestを読む。	23	学生の希望する作品から厳選して読む。
8	The Garden Party, The Dove's Nestの試験	24	学生の希望する作品から厳選して読む。
9	The Horse Dealer's Daughterを読む。	25	その作品の試験
10	The Horse Dealer's Daughterを読む。	26	学生の希望する作品から厳選して読む。
11	The Horse Dealer's Daughterの試験	27	学生の希望する作品から厳選して読む。
12	The Odour of Chrysanthemumを読む。	28	その作品の試験
13	The Odour of Chrysanthemumを読む。	29	学生の希望する作品から厳選して読む。
14	The Odour of Chrysanthemumの試験	30	学生の希望する作品から厳選して読む。
15	A Rose for Emilyを読む。	31	その作品の試験
16	A Rose for Emilyを読む。		

## 【履修上の注意事項】

予習をして授業に臨み、適宜自分の考えを述べること。

## 【評価方法】

授業に出席して文学分析のプロフェッショナルである担当教員の説明を聴くのが大切だと考えるので、出席を重視する。(30%) また、作品についての意見発表も重要である。(20%) 勿論、試験の得点は、授業をよく理解したかどうかの指標となるので、これ大いに考慮する。(50%)

## 【テキスト】

テキストは担当教員が用意する。

## 【参考文献】

講義中の解説で、数多くの文学用語を使用するので、文学用語辞典を参照して欲しい。  
図書館に所蔵のもので構わないが、特にA Handbook to Literature (Preitice Hall)を推薦する。

## 英米文学概論

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

英語で書かれた文学作品の鑑賞を通して、英米の文学、文化、社会、歴史に関する基礎的な知識を身につけるとともに、実際の作品に触れることにより、「文学とは何か」を考えることを目標とする。今年度は、小説やエッセイなどの講読を通して、「アメリカ黒人文学」という「特殊」なテーマを取り上げ、考察する。また、現代沖縄文学の作品も適宜取り入れ、アメリカ黒人文学との共通点を探ることにより、文学の「普遍性」を考察する。

### 【授業の展開計画】

毎週、作品のあらすじやテーマなどを中心に、グループ発表とディスカッションにより授業を進める。予め指名されたグループは、作品のあらすじ、テーマ、議論すべき問題点などをまとめた「発表報告書」を作成し、全員に配布すること。グループの発表を基にして、全員が作品について議論を行う。作品は、全員必ず読んでおくこと。

### 【履修上の注意事項】

特になし。

### 【評価方法】

中間試験：33%、期末試験：33%、グループ発表・発言など34%

### 【テキスト】

主にプリント教材を用いる。

### 【参考文献】

『アメリカ黒人の歴史』本田創造（岩波新書）、その他、適宜紹介する。

## Oral Communication I

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This course is designed to help first year students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Unit 1 & Listening Tests
3	Unit 2 & Listening Tests
4	Unit 3, Presentations & Listening Tests
5	Unit 4 & Listening Tests
6	Unit 5 & Listening Tests
7	Unit 6 & Listening Tests
8	Unit 7, Interviews & Listening Tests
9	Unit 8 & Listening Tests
10	Unit 9 & Listening Tests
11	Unit 10, Presentations & Listening Tests
12	Unit 11 & Listening Tests
13	Unit 12 & Listening Tests
14	Unit 13 & Listening Tests
15	Unit 14, Presentations & Listening Tests
16	Interview Tests

### 【履修上の注意事項】

The class will be conducted primarily in English. Students should come to class with their textbooks and prepared to interact with the teacher and other students using English.

### 【評価方法】

Regular attendance is extremely important in this class. Students will be evaluated based on their attendance, class participation and a variety of listening exams. Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade.

### 【テキスト】

Shimizu, P. & Gaston, B. Marathon Mouth Plus, Intercom Press (Available at Asano Bookstore)

### 【参考文献】

## Oral Communication I

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

In this course I aim to encourage students to become more confident speakers of English. In doing so I use a variety of low-stress activities, usually involving pair or group work, and co-operative (and hopefully fun) activities which require students to use the language they know.

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

This is likely to be based on attendance and participation, informal interviews, and homework assignments designed to prepare for or reinforce class activities.

### 【テキスト】

Marathon Mouth Plus. Paul Shimizu & Brent Gaston

### 【参考文献】

## Oral Communication I

担当教員 ーロビソソ ーサイソ

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This course is designed to improve students' basic listening, speaking and communication skills.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation, basic self-introductions -	17	Like - detailed speaking activity
2	Basic self-introductions - structured	18	Talking about the past - introduction,
3	Basic self-introductions - free speaking	19	Talking about the past - structured
4	Personal Information - introduction,	20	Talking about the past - free speaking
5	Personal Information - structured	21	Talking about the past - short present
6	Personal Information - free speaking	22	Talking about the future - introduction,
7	Can and Can't - introduction, listening	23	Talking about the future - structured
8	Can and Can't - structured speaking	24	Talking about the future - free speaking
9	Can and Can't - free speaking practice.	25	Talking about the future - short present
10	Time - listening, structured speaking	26	Exam preparation 1
11	Daily Activities - intro, listening	27	Exam preparation 2
12	Daily Activities - structured speaking	28	Exam preparation 3
13	Daily Activities - free speaking	29	Exam day 1 (written)
14	Like - introduction, listening	30	Exam day 2 (speaking)
15	Like - structured speaking practice	31	Exam feedback and comments, final speaking
16	Like - free speaking practice		

### 【履修上の注意事項】

Regular attendance is extremely important in this class, as is active participation. Students must bring the handout with them to class every lesson.

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, effort in class, listening tests and speaking exam.

### 【テキスト】

This course will use a photocopied handout prepared by the teacher.

### 【参考文献】

Students will be expected to download various listening materials from the CALL Lab.

## Oral Communication I

担当教員 ジョナサン ハッチャー

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This is an oral English course, so the emphasis will be on speaking and listening skills. There will also be some work on presentation skills. The main aim is, by the end of the course, for students to be able to communicate in English more fluently and naturally. Students will also feel more confident speaking English in front of others, as well as gaining a deeper understanding of general communication skills.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	The Family
2	Ice-Breaking Activities	18	Work
3	Ice-Breaking Activities	19	City Life
4	Pronunciation Focus	20	Beliefs
5	Pronunciation Focus	21	The Future
6	Pronunciation Focus	22	Transportation
7	Pronunciation Focus	23	Vices
8	Vocabulary-Building Activities	24	Marriage
9	Vocabulary-Building Activities	25	Animals
10	Usage Activities	26	Computers
11	Usage Activities	27	The Generation Gap
12	Friends	28	Travel
13	Free Time	29	Textbook Review
14	The Past	30	Final Test Preparation
15	Mi-Term Test Preparation	31	Final Test
16	Mid-Term Test		

### 【履修上の注意事項】

Class is conducted in English.

### 【評価方法】

75% In-class performance, attitude and improvement  
15% Mid-term test  
15% Final test

### 【テキスト】

Communication Strategies 1 by David Paul (Cengage Learning)

### 【参考文献】

## Oral Communication I

担当教員 -ライト ヒレル アレン

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The aim of this course will be for students to improve their ability to communicate in English. In order to maximize speaking time, students will do some of their work in pairs or small groups. I expect students to refrain from speaking in Japanese and to speak English as often as possible.

### 【授業の展開計画】

Classes will consist of textbook exercises and so-called "language gap" activities, which will take place in pairs or small groups. The group activities depend on active student participation, so I expect students to be enthusiastic about speaking English.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to the course, self-introductions, whole group activity
2	Extemporaneous speeches (for evaluation purposes)
3	Listening exercise & Q & A
4	Reading story aloud & Listening comprehension exercise
5	Vocabulary exercises (Mon - everyday items) (Thur - foods)
6	Comparing Cultures (Western Horoscope) (Chinese Horoscope)
7	Role Play: Dating & Personality
8	Sports - Prepared speech (Mon) Q & A (Thur)
9	Occupations - Film "Palookaville"
10	Weather - Extemporaneous speech
11	Travel (abroad) & (in Japan)
12	Restaurants & Role playing activity
13	Environment & Ecology
14	Stereotypes (Ethnicity) & (Gender)
15	Graded Conversations (pairs or small groups)
16	Final Exam (Listening Comprehension)

### 【履修上の注意事項】

I believe in creating a relaxed atmosphere in the classroom. Unnecessary tension inhibits conversation and participation. Don't be shy. Don't be afraid to ask questions or make mistakes. Don't be afraid to have a different opinion from the teacher..

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, in-class participation, in-class speeches, homework, graded conversations & listening comprehension test.

### 【テキスト】

Marathon Mouth by David Kehe and Peggy Dustin Kehe. Pro Lingua Associates. ISBN 0-86647-189-8. In addition, students should bring a B5 notebook and an electronic dictionary to every class.

### 【参考文献】

## Oral Communication II

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This course is designed to help students improve their speaking and listening skills and their overall ability to communicate.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Useful English
3	Introductions
4	What Do You Do?
5	Day to Day
6	Where Are We?
7	Talking about Families
8	What Are You Interested In?
9	Talking about the Past
10	Looking at People
11	This One? That One?
12	I've Got a Feeling
13	Let's Go Shopping
14	That's Entertainment
15	Dreams and Fantasies
16	Interview Tests

### 【履修上の注意事項】

The class will be conducted primarily in English. Students should come to class with their textbooks and prepared to interact with the teacher and other students using English.

### 【評価方法】

Regular attendance is extremely important in this class. Students will be evaluated based on their attendance, class participation and a variety of listening exams. Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade.

### 【テキスト】

Thompson, P. & Chase, C. Natural Speaking, Intercom Press (Available at Asano Bookstore)

### 【参考文献】



## Oral Communication II

担当教員 -ジ ョン ターバート

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This course is designed to improve students' speaking and listening skills as well as their overall ability to communicate effectively in English in real-life situations.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Useful English / Introductions
2	What Do You Do?
3	Day to Day
4	Where Are We?
5	Talking about Families
6	What Are You Interested In?
7	Talking about the Past
8	Looking at People
9	This One? That One?
10	I've Got a Feeling
11	Let's Go Shopping
12	Experiences to Remember
13	That's Entertainment
14	Where Does It Hurt?
15	Dreams and Fantasies
16	Interview Tests

### 【履修上の注意事項】

Students will be expected to use English as much as possible in class. Students should come to class prepared (with textbooks and dictionaries) and willing to participate.

### 【評価方法】

The final grade will be based on attendance, class participation, quizzes, interviews, presentations and homework assignments related to class activities.

### 【テキスト】

Thompson, P. & Chase, C. Natural Speaking, Intercom Press

### 【参考文献】

An English-Japanese / Japanese-English dictionary (printed or electronic) is recommended. Cell phone dictionaries cannot be used in class.

## Oral Communication II

担当教員 グレイ クエン ヒデオ

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

Our goal will be to become better, more confident english speakers.

### 【授業の展開計画】

we will follow the course of the Natural Speaking textbook.

週	授 業 の 内 容
1	Intoduction: Nuts and Bolts
2	Unit 1
3	Unit 2
4	Unit 3
5	Unit 4
6	Unit 5
7	Unit 6
8	Unit 7
9	Unit 8
10	Unit 9
11	Unit 10
12	Unit 11
13	Unit 12
14	Unit 13
15	Unit 14
16	Hugs and Kisses

### 【履修上の注意事項】

Please come to class prepared, ready to engage and deplete of inhibition

### 【評価方法】

Regular class attendance and ACTIVE participation will constitute to the majority of your grade. Additionally, your performance on bi-weekly quizzes and in-class presentations shall play a role.

### 【テキスト】

Natural Speaking

### 【参考文献】

N/A

## Oral Communication II

担当教員 東恩納 ミシェル

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

The primary focus of this course is for students to increase their ability to converse and communicate in English. Listening, speaking, pronunciation and vocabulary acquisition will be addressed. Topics include: Geographical regions, climate and food. Culture, communication and small talk. City life and maps. Human organs, parts of the body and ailments. Physical and mental challenges. Life stages. Luxury items, import and export. Animals and adverbs of manner. The past. Travel, vacations and the airport. Career decisions. Festivals, holidays and celebrations.

### 【授業の展開計画】

Please note: As this is an oral ENGLISH class your instructor will speak only English during the class period. Please use English as much as possible in class. Please do not chat with your conversation partners in Japanese during the class period. Expect to spend several hours OUTSIDE of class time preparing for your midterm and final exams, and doing listening work.

週	授 業 の 内 容
1	Geographical regions, Food staples, Climate
2	Culture, communication, gestures and small talk
3	City life and maps
4	Presentations
5	Human organs, parts of the body, ailments
6	Physical and mental challenges
7	Stages of life
8	Midterm Test Review and Exam
9	Luxury items, import and export
10	Animals and adverbs of manner
11	Presentations
12	The past. Travel, vacations and the airport
13	Presentations
14	Careers
15	Festivals, holidays and celebrations
16	Final Test Review and Exam

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

1. Three dialog or other oral presentations 30%
2. Midterm test 30%
3. Final presentation 30%
4. 10 hours listening 10%. If you are absent 10 times you cannot pass this course. Being late to class 3 times equals one absence.

### 【テキスト】

World English 2 Heinle Cengage Learning. ISBN 978-1-4240-5091-8

### 【参考文献】

- Listening Homework: 1. Randall's Cyber Listening Lab [www.esl-lab.com](http://www.esl-lab.com) 2. Ello [www.ello.org](http://www.ello.org)  
 3. VOA [www.voanews.com](http://www.voanews.com) 4. National Geographic [www.nationalgeographic.com](http://www.nationalgeographic.com)

## Oral Communication II

担当教員 ジョナサン ハッチャー

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

This is an oral English course, so the emphasis will be on speaking and listening skills. There will also be some work on presentation skills. The main aim is, by the end of the course, for students to be able to communicate in English more fluently and naturally. Students will also feel more confident speaking English in front of others, as well as gaining a deeper understanding of general communication skills.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	The Family
2	Ice-Breaking Activities	18	Work
3	Ice-Breaking Activities	19	City Life
4	Pronunciation Activities	20	Beliefs
5	Pronunciation Activities	21	The Future
6	Pronunciation Activities	22	Transportation
7	Pronunciation Activities	23	Vices
8	Vocabulary-Building Activities	24	Marriage
9	Vocabulary-Building Activities	25	Animals
10	Usage Activities	26	Computers
11	Usage Activities	27	The Generation Gap
12	Friends	28	Travel
13	Free Time	29	Textbook Review
14	The Past	30	Final Test Preparation
15	Mid-term Test Preparation	31	Final Test
16	Mid-term Test		

### 【履修上の注意事項】

Class is conducted in English.

### 【評価方法】

75%: In-class performance, attitude and improvement  
 15%: Mid-term test  
 15%: Mid-term test

### 【テキスト】

Communication Strategies 1 by David Paul (Cengage Learning)

### 【参考文献】

## Oral Communication III

担当教員 グレイ クエン ヒデオ

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

to improve students english speaking and listing skills

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	1. Intro: Nuts and Bolts
2	2. Intro: Meet and Greet
3	Unit 1
4	Unit 1
5	Unit 1
6	Unit 2
7	Unit 2
8	Unit 2
9	Unit 2
10	Unit 2
11	Unit 3
12	Unit 3
13	Unit 3
14	Unit 3
15	Unit 3
16	Unit 3

### 【履修上の注意事項】

students will be expected to complete all homework assignments prior to the start of class on the day that they are due. This will prove to be exceedingly important as much of our in-class time will be dedicated to group work and discussion

### 【評価方法】

Class attendance and ACTIVE participation in small group discussions will constitute 50-60% of students' final grade. Weekly preparation will add 10-15%.

Final exam/presentation will account for 15-25%, with the balance being construed of weekly in-class presentations. Percentages will fall to the benefit of the student. (i.e. I will focus on your strong suits, to a limited degree).

### 【テキスト】

Widets

### 【参考文献】

N/A

## Oral Communication III

担当教員 ジョーン ターハート

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The class will include a variety of pair / group / class activities to develop communication skills. Topics will include: making requests / asking for permission, giving advice, giving opinions / agreeing/ disagreeing, talking about culture, pair and group discussions and giving presentations.

## 【授業の展開計画】

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

The final grade will be based on quizzes, attendance, participation, pair / group work, presentations and homework assignments related to class activities. Students will be expected to use English as much as possible in class.

## 【テキスト】

There is no assigned textbook for this class. The instructor will provide materials to be used in class.

## 【参考文献】

## Oral Communication III

担当教員 -東恩納 ミシェル

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

The course aims to empower students to engage in basic conversations, correctly use in context the basic tense system, modal verbs, and basic speech acts, ask and answer questions on conversational topics, speak continuously in a short monologue on personal and everyday topics, be able to give their opinions, become aware of the effect of phonological features, improve their pronunciation, intonation, and rhythm and perceive, comprehend and respond where appropriate to basic spoken English.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Getting Started Personal Information
2	Asking for Information
3	Describing Things
4	Making Requests
5	Giving Instructions
6	Asking For Permission
7	Making Excuses and Giving Reasons
8	Midterm Test Review and Exam
9	Giving Opinions
10	Comparing Things
11	Giving Advice and Making Suggestions
12	Talking About Experiences
13	Inviting
14	Making Predictions
15	Personal Goals and Dreams
16	Final Test Review and Exam

### 【履修上の注意事項】

All notes for class will be taken by students provided orally by instructor.

### 【評価方法】

1. Three brief dialog or other oral presentations 30%
  2. Attendance & participation 30%
  3. Final presentation 30%
  4. 10 hours listening 10%
- If you are absent 10 times you cannot pass this course and will have to repeat it.

### 【テキスト】

Fifty-Fifty Book Two Third Edition

### 【参考文献】

1. Randall's Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/>
2. ELLLO <http://www.ello.org/english/home.htm>
3. VOA <http://www.voanews.com/english/news/>
4. National Geographic <http://www.nationalgeographic.com/>

## Oral Communication III

担当教員 一橋大学 英語学専攻 教授 藤田 隆

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Week 1: 7 April. Introductions, Textbook Unit 0.
2	Week 2: 11 & 14 April, Unit 1 'Have you two met?'
3	Week 3: 18 & 21 April, Unit 2 'You must be excited'
4	Week 4: 9 & 12 May, Unit 3 'Going Places'
5	Week 5: 16 & 19 May, Unit 4 'I love that!'
6	Week 6: 23 & 26 May, Unit 5 'Why?'
7	Week 7: 30 May & 2 June, Unit 6 'What's it like there?'
8	Week 8: 6 & 9 June, Review Unit 1
9	Week 9: 13 & 16 June, Unit 7 'Do you remember when...?'
10	Week 10: 20 & 23 June, Unit 8 'Making Plans'
11	Week 11: 27 & 30 June, Unit 9 'What should I do?'
12	Week 12: 4 & 7 July, Unit 10 'Tell me a story'
13	Week 13: 11 & 14 July, Unit 11 'In my opinion'
14	Week 14: 18 & 21 July, Unit 12 'Looking Ahead'
15	Exam Week 25-29 July.
16	Make Up Classes in August.

### 【履修上の注意事項】

#### 【評価方法】

A Mid Term test (Oral and written)  
 A Final Test (Oral and written)  
 Participation in Class

#### 【テキスト】

Marc Helgesen, Steven Brown & Thomas Mandeville English Firsthand 2 New Gold Edition. Pearson Longman 2008

#### 【参考文献】



## Oral Communication III

担当教員 ーライト ヒレル アレン

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The aim of this course will be for students to improve their ability to communicate in English. In order to maximize speaking time, students will do some of their work in pairs or small groups. I expect students to refrain from speaking in Japanese and to speak English as often as possible.

### 【授業の展開計画】

Classes will consist of textbook exercises and so-called "language gap" activities, which will take place in pairs or small groups. The group activities depend on active student participation, so I expect students to be enthusiastic about speaking English.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to class and methods, self-introductions
2	Extemporaneous speeches (for evaluation purposes)
3	Traffic & the environment in Okinawa
4	Language & Travel
5	Education & Family
6	Marriage & Career (staying single)
7	Prepared speeches & Classroom Q & A
8	Friendship & Finances
9	Food & Health
10	Cyber bullying & extemporaneous speeches
11	Aging & personal responsibility
12	Higher education & classroom Q & A
13	International relationships & Prepared speeches
14	Social networks & film ("The Social Network")
15	Graded conversations (pairs or small groups)
16	Final Exam (Listening comprehension)

### 【履修上の注意事項】

I believe in creating a relaxed atmosphere in the classroom. Unnecessary tension inhibits conversation and participation. Don't be shy. Don't be afraid to ask questions or make mistakes. Don't be afraid to have an opinion different from the teacher's.

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, class participation, homework, in-class speeches, graded conversation and listening comprehension test.

### 【テキスト】

Impact Issues (New Edition) by R.R. Day, J. Shaules & J Yamanaka, Pearson/Longman, ISBN 978-962-01-9931-8. In addition, students should bring a B5 notebook and an electronic dictionary to every class.

### 【参考文献】

## 観光英語

担当教員 東 菜美

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

英語の一般的な能力だけでなく、観光業界の専門用語や独特の言い回しを学び、海外旅行や観光事業に従事する上で役に立つ英語の能力を身に付ける。

## 【授業の展開計画】

毎回、観光の場面やテーマを設定し、観光産業の基本的な知識を学習する。観光に関する用語や表現の習得、その他、多文化や国際的なマナー等を学びながら実務レベルの英語運用能力を高める。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイドダンス、オリエンテーション	17	ショッピング 第5章「自由行動の案内1」
2	観光概論、観光基礎知識	18	通貨 第5章「自由行動の案内1」
3	沖縄の観光 序章「添乗英語の特徴」	19	乗り物 第6章「自由行動の案内2」
4	航空業界 第1章「機内で」	20	乗り物 第6章「自由行動の案内2」
5	日本の航空会社 第1章「機内で」	21	レストラン 第7章「レストランで」
6	機内サービス 第1章「機内で」	22	メニュー 第7章「レストランで」
7	機内サービス 第1章「機内で」	23	世界の料理 第7章「レストランで」
8	空港業務 第1章「機内で」	24	世界の料理 第7章「レストランで」
9	空港業務 第2章「空港到着」	25	観光地 第8章「観光・視察」
10	出入国審査 第2章「空港到着」	26	世界遺産 第8章「観光・視察」
11	検疫・税関検査 第2章「空港到着」	27	トラブル対応 第9章「事故処理」
12	ホテル 第3章「ホテル1」	28	トラブル対応 第9章「事故処理」
13	ホテル 第3章「ホテル1」	29	日本の観光 第10章「現地での移動と帰国」
14	中間試験、観光英検過去問題・模擬問題	30	日本の観光 第10章「現地での移動と帰国」
15	ホテル 第4章「ホテル2」	31	期末試験
16	ホテル 第4章「ホテル2」		

## 【履修上の注意事項】

積極的に参加し取り組むこと。

## 【評価方法】

講義における参加、貢献度と中間試験、学期末試験の結果を総合的に評価する。

## 【テキスト】

「ツアーコンダクターの英語 English for Tour Leaders Overseas」 JTB総合研究所

## 【参考文献】

沖縄県観光学習教材ワークブック 沖縄県観光商工部観光振興課

**観光英語**

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

**【授業のねらい】**

This course aims to improve language skills frequently used in the field of hospitality. The tourism industry needs well trained and linguistically proficient workers who are adept not only at communicative competence but also intercultural communication.

**【授業の展開計画】**

This course will use a textbook as a base but further supplementary material will be provided by the Instructor.

Further detail about the class structure and semester format will be given to the students on the first day of the class.

**【履修上の注意事項】****【評価方法】**

Attendance, Participation, Assignments and a Final report will be required of participants in this class.

**【テキスト】**

TBA

**【参考文献】**

## 基礎演習 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

アカデミックレポートの書き方を中心に学習しながら、レポート作成に必要な文章力の向上を目指します。

### 【授業の展開計画】

- 第1週 オリエンテーション
- 第2週 キャリアガイダンス
- 第3週 図書館オリエンテーション
- 第4週 文章トレーニング (1) ことばとは・文章とは・アカデミックレポートとは
- 第5週 文章トレーニング (2) アカデミックレポートの形式 1
- 第6週 文章トレーニング (3) アカデミックレポートの文章 2
- 第7週 文章トレーニング (4) アカデミックレポートの文章 1
- 第8週 文章トレーニング (5) アカデミックレポートの文章 2
- 第9週 文章トレーニング (6) アカデミックレポートの文章 3
- 第10週 課題発表 1
- 第11週 文章トレーニング (7) アカデミックレポートの文章 4
- 第12週 文章トレーニング (8) アカデミックレポートの文章 5
- 第13週 文章トレーニング (9) アカデミックレポートの文章 6
- 第14週 文章トレーニング (10) アカデミックレポートの文章 7
- 第15週 課題発表 2
- 第16週 まとめ

### 【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- 2) 積極的に授業に参加すること
- 3) 授業中に私語・居眠りをしないこと
- 4) 教室では携帯電話の電源を切ること
- 5) 宿題の提出期限を厳守すること

### 【評価方法】

出席率、授業態度、授業への貢献度、レポートの内容および課題発表の出来

### 【テキスト】

プリンと教材を準備する

### 【参考文献】

講義の中でそのつど紹介する。

## 基礎演習 I

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

レポートの作成・発表、スピーチ、ディベート等の活動を通して日本語・英語による文章力、発表力の向上を目指します。

### 【授業の展開計画】

コース前半は日本語によるグループ発表、個人スピーチ、後半は英語の個人スピーチ、ワークショップを行います。

### 【履修上の注意事項】

無断欠席・遅刻をしない（遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします、1/3以上欠席の場合単位は認められません）

### 【評価方法】

授業態度（出席状況、発言）、ブックリポート、グループレポート、グループ発表、個人発表を総合的に評価します。

### 【テキスト】

講義の中で適宜配布します。

### 【参考文献】

授業の中で紹介します。

## 基礎演習 I

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

この演習と後期の基礎演習Ⅱを通して大学での学業に必要な読解能力と表現能力を培う。前期の演習Ⅰでは、新聞記事、雑誌記事、随筆などを読んでその内容について全員でディスカッションする。ディスカッションを通して、論点の捕らえ方、要点の纏め方、論理的な意見の述べ方などを練習する。続いて、各自興味のあるテーマを選んで調べ、その内容を口頭で発表する。発表した内容はレポートにまとめ、後日提出する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	1回 オリエンテーション
2	2回 テキストの読み合わせと自己紹介の仕方
3	3回 テキストの読み合わせと文章の読み方
4	4回 新聞記事、雑誌記事、随筆などを読んだでのディスカッションー1
5	5回 新聞記事、雑誌記事、随筆などを読んだでのディスカッションー2
6	6回 新聞記事、雑誌記事、随筆などを読んだでのディスカッションー3
7	7回 個人発表の準備（レジユメの書き方、発表の仕方、レポートのまとめ方など）
8	8回 個人発表ー1
9	9回 個人発表ー2
10	10回 個人発表ー3
11	11回 個人発表ー4
12	12回 個人発表ー5
13	13回 個人発表ー6
14	14回 個人発表ー7
15	まとめ（授業評価を含む）
16	レポート提出

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、欠席をしないこと
- (2) テキスト、ノート、筆記用具、電子辞書を持ってくること
- (3) 指定された課題を必ず読み、質問あるいは意見をもって授業に臨むこと
- (4) 授業中に私語、居眠りをしないこと
- (5) 教室では携帯電話等の電源を切ること

## 【評価方法】

出席率、課題、発表、レポート、およびクラス・ディスカッションへの貢献度を見て総合的に評価する。

## 【テキスト】

選定中

## 【参考文献】

個人の発表テーマに応じて適宜紹介する。

## 基礎演習 I

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

「読む」、「話す」、「聞く」、「書く」の四技能の実践的な訓練を通して、大学における学習方法の基礎力を培い、同時に、論理的な思考に根ざした日本語の運用能力を向上させることを目標とする。

### 【授業の展開計画】

前半は、カードの使い方、論の組み立て方などを、ディスカッションや作文を通して練習する。後半は、各回ごとに指定された日本語のテキストについて、指名されたグループがその大意とテーマを発表し、これを土台にして全員が問題点を議論する。発表するグループは、大意、テーマ、議論すべき問題点などをまとめた「発表報告書」を事前に作成し、発表の際に全員に配布する。また、授業の後に、そのテーマに関するレポートを書き、提出すること。（レポートの提出については、前期前半も同じ。）授業で指定されたテキストは、全員必ず読んでくること。

### 【履修上の注意事項】

特になし

### 【評価方法】

レポート：60%、発表・発言：40%

### 【テキスト】

プリント教材を用いる。

### 【参考文献】

『知的生産の技術』梅棹忠夫、岩波新書

『日本語の作文技術』本多勝一、朝日文庫

その他、適宜紹介する。

## 基礎演習 I

担当教員 尚 真貴子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

「読む」「書く」「話す」「聞く」の四技能の実践的な練習を通じて、大学で学ぶための必要な「日本語力」の育成を目標とする。個人発表、グループ発表の際には、レジュメを準備し内容を簡潔に明瞭にまとめ、分かりやすく話す。また、指定されたテキストを読み、それぞれのグループで大意とテーマをまとめ、発表し、それをもとに、全員でディスカッションを行う。

### 【授業の展開計画】

実際の授業の進め方（授業の展開計画）に関しては、別に詳しいシラバスを作成し最初の授業で配布する。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

総合的に評価するが、特に平常点を重視する。依って出席率、提出物、担当課題の口頭発表、授業への参加状況などが重視される。

### 【テキスト】

配布資料と参考文献を中心に講義を行う。

### 【参考文献】

参考図書リストをクラスで配布する。



## 基礎演習 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本演習では、日本語による presentation skill を先ず磨きます。課題となる book report を土台にして、感銘を受けた本の魅力や一冊の本では包含できない限界を class に紹介します。十分な reading & writing を基盤に listening & speaking を統合します。後半では、前半で習得した procedure を参考に、英語による presentation を試みます。英語専攻の学友に、英語を通して「奇跡の一冊」の醍醐味や批判的見解を訴える基礎的技能を陶冶します。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・途中退出は一切認められません。
- ③ 課題は期限までに毎時完成させましょう。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。handouts および notebook, 辞書, 筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語および居眠り・他者への迷惑行為は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation（個人または pair/group）
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 英語使用量

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本演習では、日本語による debating skills を先ず磨きます。class で選択した複数の主題を賛否に分かれて論議します。同一 group 内での informal debate になります。これにより、題材の発見能力、資料の検索能力、論点の整理能力、主張の構成能力、聴衆への説得力を伸長させます。次に、英語による public speaking を試みます。自分の立場を明らかにして、data や論拠を援用しながら自らの主張の正当性を明らかにする手法の基礎を獲得します。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・途中退出は一切認められません。
- ③ 課題は期限までに毎時完成させましょう。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。handouts および notebook, 辞書, 筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語および居眠り・他者への迷惑行為は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation（個人または pair/group）
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 英語使用量

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 尚 真貴子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前期の「基礎演習Ⅰ」に引き続き、大学の授業や研究発表の場で必要な読解能力、文章表現能力、口頭発表能力を培う。次の3つのことを行う。1. パワーポイントを使用しての個人発表 2. 指定されたテキストを読み、内容を要約、レジюмеを作成してのグループ発表 3. 個人で興味あるテーマを選んで深く調べ、比較的長いレポートの作成（授業内では、レジюмеを作成し口頭発表）

### 【授業の展開計画】

実際の授業の進め方（授業の展開計画）については、別に詳しいシラバスを作成し最初の授業で配布する。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

総合的に評価するが、特に平常点を重視する。依って出席率、提出物、担当課題の口頭発表、授業への参加状況などが重視される。

### 【テキスト】

配布資料と参考文献を中心に講義を行う。

### 【参考文献】

参考図書リストをクラスで配布する。

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング活動を通して英語による授業に対応できる技能の獲得を目指します。

### 【授業の展開計画】

前半は、リーディングやリスニングで得た情報を伝える練習、後半はパワーポイントを使用したプレゼンテーションを練習します。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席・遅刻をしない（遅刻2回で欠席1回とみなします、1/3以上欠席の場合単位は認められません）
- (2) 課題は期限内に提出すること

### 【評価方法】

授業態度（出席状況、発言）、スピーチ、グループレポート、ブックリポートを総合的に評価します

### 【テキスト】

講義中に適宜配布します

### 【参考文献】

講義中に連絡します

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

「読む」、「話す」、「聞く」、「書く」の四技能の実践的な訓練を通して、大学における学習方法の基礎力を培い、同時に、論理的な思考に根ざした日本語の運用能力を向上させることを目標とする。

### 【授業の展開計画】

論文形式のレポートの作成を行う。テーマは自由。アウトラインのたて方、資料の収集、個人発表などを行い、最終的に「注・参考文献」を含め、1,000字以上のレポートを完成させる。

### 【履修上の注意事項】

特になし

### 【評価方法】

個人発表：30%、自由レポート：70%

### 【テキスト】

プリント教材を用いる。

### 【参考文献】

『知の技法』小林康雄・船曳建夫編、東京大学出版会  
その他、適宜紹介する。

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

基礎演習1で学習したことを前提に、さらにアカデミックレポートの書き方を中心に学習しながら、レポート作成に必要な文章力の向上を目指すとともに、各自レポート作成を行う。

### 【授業の展開計画】

- 第1週 オリエンテーション
- 第2週 キャリアガイダンス
- 第3週 図書館オリエンテーション
- 第4週 文章トレーニング(1)
- 第5週 文章トレーニング(2)
- 第6週 文章トレーニング(3)
- 第7週 文章とトレーニング(4)
- 第8週 文章トレーニング(5)
- 第9週 文章トレーニング(6)
- 第10週 課題発表1
- 第11週 文章トレーニング(7)
- 第12週 文章とトレーニング(8)
- 第13週 文章トレーニング(9)
- 第14週 文章トレーニング(10)
- 第15週 課題発表2
- 第16週 まとめ

### 【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- 2) 積極的に授業に参加すること
- 3) 授業中に私語・居眠りをしないこと
- 4) 教室では携帯電話の電源を切ること
- 5) 宿題の提出期限を厳守すること

### 【評価方法】

出席率、授業態度、授業への貢献度、レポートの内容および課題発表の出来

### 【テキスト】

プリント教材を準備します。

### 【参考文献】

授業の中でそのつど紹介します。

## 基礎演習Ⅱ

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

前期の基礎演習Ⅰに続き、大学での学業に必要な読解能力と表現能力を培う。後期はグループ発表形式を取り、特定のテーマ（例：早期英語教育、バイリンガル教育）について賛否の立場から意見を述べる練習をする。テーマはグループごとに定めることとし、発表するグループはそれぞれの論点を1000字程度にまとめたレジュメと参考文献リスト・資料をゼミのメンバー全員分準備し、配布する。発表後は各自調べた内容をレポートに纏め、提出する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	1回 夏休みについての報告
2	2回 テキストの読み合わせ
3	3回 テキストの読み合わせ
4	4回 テキストの読み合わせ
5	5回 意見の述べ方ー1（レジュメおよびレポートの書き方）
6	6回 意見の述べ方ー2（論点を押さえた意見の述べ方）
7	7回 グループ発表ー1
8	8回 グループ発表ー2
9	9回 グループ発表ー3
10	10回 グループ発表ー4
11	11回 グループ発表ー5
12	12回 グループ発表ー6
13	13回 グループ発表ー7
14	14回 グループ発表ー8
15	まとめ（授業評価を含む）
16	レポート提出

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) テキスト、ノート、筆記用具、電子辞書を持ってくること
- (3) グループ発表のテーマについては、発表者以外も必ず調べ、意見をもって授業に臨むこと
- (4) 授業中に私語、居眠りをしないこと
- (5) 教室では携帯電話等の電源を切ること

## 【評価方法】

出席率、課題、発表、レポート、および討論への貢献度などを見て総合的に評価する。

## 【テキスト】

選定中

## 【参考文献】

各グループの発表テーマに応じて適宜紹介する。

## 基礎演習Ⅲ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This course is designed to assist students in improving their ability to choose a research topic, gather information from libraries, the Internet and other sources, analyze that information, present it in a written English report and then make an oral presentation based on that report. This first half of the course will give more attention to developing English research and writing skills.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Registration and Course Introduction
2	Student Self Introductions
3	Introduction to research methods
4	Introduction to Rashamon and In a Grove
5	Kurosawa's Rashamon
6	Group discussions of Rashamon
7	Submission of Rashamon Research Paper first draft
8	Return of Rashamon Research Paper first draft
9	Submission of Rashamon Research Paper final draft
10	Selection of Paper Topics, Library Search Exercise
11	Library Search Check
12	Submission of Research Plan
13	Individual Consultations
14	Submission of Introduction
15	Return of Introduction
16	Individual Presentations

## 【履修上の注意事項】

Registration for this course is based on assignment by student number.

## 【評価方法】

Students will be evaluated based on their written reports, oral presentations, homework, and class participation. Students will also be evaluated on their attendance and their ability to meet deadlines.

## 【テキスト】

There is no text for this class. Students will be given a syllabus and will keep a journal and will bring them to class each week. The content of the journal will be explained in class.

## 【参考文献】

Students will be given materials to help them learn how to use the APA style in written reports.



## 基礎演習Ⅲ

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The aim of this course is to provide guidelines, strategies and practice in writing term papers and summaries. Students will learn how to prepare for a term paper through a series of individual and group activities.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Prewriting: Topics
3	Prewriting: Sources
4	Library workshop (1)
5	Prewriting: Taking notes
6	Library workshop (2)
7	Organizing your paper: Thesis statement
8	Organizing your paper: Outline
9	Writing the first draft: Title & style
10	INTRODUCTION
11	BODY (1)
12	BODY (2)
13	CONCLUSION
14	Avoiding plagiarism
15	Evaluating and rewriting
16	Final draft

## 【履修上の注意事項】

No particular requirements.

## 【評価方法】

Attendance & Class Participation (40%). Homework (20%). Term Paper (40%).

## 【テキスト】

To be announced in class.

## 【参考文献】

## 基礎演習Ⅲ

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The seminar will be conducted as a workshop: students will be provided a large selection of reading materials from which to choose, be given ample time to read during class, and be asked to share their reactions to various books. Through extensive reading, students should develop greater independence and more confidence in their English reading abilities.

## 【授業の展開計画】

As explained above, the seminar will be conducted in a workshop format. This means there will be few if any formal lectures. Instead, we will have reading time, small group activities, and occasional large group discussions. In addition, students will be asked to present a book to the class and make a poster in a group.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, using the extensive reading library
2	Discussion about reading, writing a good essay
3	DUE: "Reading and You" handout / Discussion about reading
4	DUE: Read 「多読 (Extensive Reading) について」 Short test and discussion
5	Presentations: Introduce a book DUE: Reading Notebooks (3 weeks)
6	Presentations: Introduce a book
7	Library guidance
8	DUE: Reading Notebooks (3 weeks) Discussion: Talking about literature
9	Test on assigned book. Discussion: Talking about literature
10	Movie (in English with English captions)
11	Discussion of movie and book DUE: Reading Notebooks (3 weeks)
12	Groups for poster projects
13	Working on posters
14	Poster presentations
15	DUE: Reading Notebooks (Okinawa literature, short stories)
16	Final exam and evaluations Early August: Seminar House

## 【履修上の注意事項】

Students should be prepared to do an extensive amount of reading, especially in English. Since the focus is on extensive reading, students are strongly encouraged to choose books and materials that they can easily comprehend. Books that seem too easy are far preferable to books that seem too difficult.

## 【評価方法】

Students will be evaluated based on class performance, journals, and how much reading they do. In general, students must read more than 35 pages / week to receive a passing grade (可); more than 45 pages / week to receive a 良; and more than 55 pages / week to receive a 優. Three latenesses will count as one absence. Students should read 15 extra pages for each absence.

## 【テキスト】

Students will not be required to buy any textbooks but will be allowed to borrow graded readers and other books from the instructor.

## 【参考文献】

Students should bring a B5 notebook and an electronic dictionary to every class.

## 基礎演習Ⅲ

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The aim of this course is to build on students' English study skills so as to conduct academic discussions, and produce academic texts and presentations in English.

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

For practical reasons classes will be conducted predominantly in English, though I do not intend to impose an “English only” policy.

### 【評価方法】

Evaluation is by continuous assessment based on course work, participation and attendance, and self-evaluation

### 【テキスト】

No textbook is required for this class.

### 【参考文献】

## 基礎演習Ⅲ

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This class aims to prepare students for their future academic English assignments through a service learning approach. Students will be expected to work out both inside and outside the class. There will be frequent individual, pair and group work assignments throughout the semester. The first half of the year will be devoted to developing good habits and study skills that make for a successful academic experience.

### 【授業の展開計画】

The text for this class will be our jumping off point into the field of service learning. It will be the core part of the semester with relevant supplementary material provided by the instructor.

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

Attendance, active participation, and performance(assignments, projects and reports). A detailed explanation will be given on the first day of classes.

### 【テキスト】

TBA on the first day of classes.

### 【参考文献】

## 基礎演習Ⅳ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This course is designed to assist students in improving their ability to choose a research topic, gather information from libraries, the Internet and other sources, analyze that information, present it in a written English report and then make an oral presentation based on that report. This second half of the course will concentrate on producing an individual research report and developing oral English presentation skills, including the use of PowerPoint.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Introduction and Registration
2	Individual Consultations
3	Submission of Introduction and Body
4	Return of Draft
5	Individual Consultations
6	Submission of First Full Draft
7	Return of Draft
8	Submission of Second Draft
9	Return of Draft
10	Individual Consultations
11	Submission of Final Draft
12	Oral Presentations Preparation Day
13	Oral Presentations
14	Oral Presentations
15	Oral Presentations
16	Oral Presentations

## 【履修上の注意事項】

Registration for this course is based on assignment by student number.

## 【評価方法】

Students will be evaluated based on their written reports, oral presentations, homework and class participation. Students will also be evaluated based on their attendance and their ability to meet deadlines

## 【テキスト】

There is no text for this class. Students will be given a syllabus and will keep a journal and will bring them to class each week. The content of the journal will be explained in class.

## 【参考文献】

Students should follow the standards of the APA Publication Manual.

## 基礎演習Ⅳ

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The aim of this course is to build on students' English study skills so as to conduct academic discussions, and produce academic texts and presentations in English.

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

For practical reasons classes will be conducted predominantly in English, though I do not intend to impose an “English only” policy.

### 【評価方法】

Evaluation is by continuous assessment based on course work, participation and attendance, and self-evaluation.

### 【テキスト】

No textbook is required for this class.

### 【参考文献】

## 基礎演習Ⅳ

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This course focuses on skills and practice in giving oral presentations. Students will acquire basic presentation skills through a variety of individual and group activities.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Review; abstract writing
2	Proofreading: self and peer editing
3	Mini presentations
4	The physical message (1)
5	" (2)
6	" (3)
7	The visual message (1)
8	" (2)
9	The story message (1)
10	" (2)
11	" (3)
12	" (4)
13	Final performance
14	Oral presentation (1)
15	" (2)
16	" (3)

## 【履修上の注意事項】

Students who enroll in this course must have taken 基礎演習Ⅲ from the same instructor.

## 【評価方法】

Attendance & Class Participation (40%). Homework (20%). Oral Presentation (40%).

## 【テキスト】

To be announced in class.

## 【参考文献】

## 基礎演習Ⅳ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前期の基礎演習Ⅲに続き、自己の意見や立場を明確に表現するために必要なスキルを身につける。特に、グループ毎に興味のあるトピックを選択し、調査・議論を重ねた上で、発表する能力を養成する。また、他のグループ発表を項目毎に評価し、論点をまとめる作業を通して、論理的思考の構築を目指す。

### 【授業の展開計画】

前半は、トピックの選択、トピックに対する調査の仕方、議論の構築の仕方を中心に講義を進める。後半は、パワーポイントを使用したグループ毎の発表を中心に進める。

### 【履修上の注意事項】

特になし。

### 【評価方法】

出席状況、受講姿勢、グループ発表への貢献度など総合的に判断する。

### 【テキスト】

講義内で紹介する。

### 【参考文献】

講義内で紹介する。



## 基礎演習Ⅳ

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This class aims to prepare students for their future academic English assignments through a service learning approach. Students will be expected to work out both inside and outside the class. There will be frequent individual, pair and group work assignments throughout the semester. This second half of the year will focus on writing up, discussing and presenting many of our first semester experiences.

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

Attendance, active participation, and performance(assignments, projects and reports). A detailed explanation will be given on the first day of classes.

### 【テキスト】

TBD

### 【参考文献】

## 基礎演習Ⅳ

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The aim of the class is to prepare students for writing an academic paper in English. Students will learn to see writing as a process, which includes pre-writing, note-taking, discussion, revision, editing, and proof-reading.

## 【授業の展開計画】

Students will be required to write two papers: a short 5-paragraph essay on a TWE topic, and a 4-page academic paper on a novel to which they have been assigned. In addition, students will be required to thoroughly revise their papers.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to the course / Lecture: the Writing Process
2	Pre-writing activities: free-writing, brainstorming, ballooning, etc.
3	Writing a TWE Essay / Lecture: the Basic 5-Paragraph Essay
4	Lecture: How to Revise / Pair-checks
5	Group discussion of student essays / Revision
6	Lecture: Proofreading / Revision
7	Lecture: Writing an Academic Paper DUE: Final Draft of TWE Essay
8	TEST on assigned novel / group discussion
9	Lecture: Choosing a topic / group discussion
10	DUE: Reports on Theme / Discussion
11	FIRST DRAFTS DUE / Pair check and revision
12	General comments on student papers
13	Individual conferences, revision of papers
14	Individual conferences, revision of papers
15	Oral presentation of papers
16	FINAL REVISIONS DUE / evaluations / discussion of course

## 【履修上の注意事項】

Students should be prepared to do an extensive amount of writing in English--including revision. Students should have a good Japanese-English dictionary (or an electronic dictionary) with them at all times.

## 【評価方法】

Grades will be calculated based on the following: test and class participation (10%), notebooks (15%), TWE essays (25%), pair checks (10%), and an academic paper (40%). Students must attend two-thirds of all classes to receive a passing grade.

## 【テキスト】

Students should purchase a copy of the book to which they have been assigned.

## 【参考文献】

Students should bring an electronic dictionary and a B5 notebook to every class.

## 言語学概論 I

担当教員 宮良 信詳

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ことばを話さない人間の集団は存在しない。人間の居るところには必ずことばが話されている。それで、ことばについて知ることは人間を知ることにもつながる。この授業では、ことばについての基礎知識を学ぶ。さらに、ことばのしくみについて知るために、まず (1) ことばの特性、言語能力；(2) 音声のしくみ（音韻論）；(3) 語のしくみ（形態論）について解りやすく解説する。日本語のみならず、地元の伝統的なことばのうちなぐち（沖縄語）の事例をも多用することになるので、乞うご期待。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ことばのしくみとは？ ビデオ教材をつかしながら解説する。
2	いつの間にことばを覚えたのか。ビデオ教材をつかしながら解説する。
3	ことばの特性（生得的、分節的、二重性、創造・超越的、など）
4	動物の伝達手段と人間言語との違い
5	言語の習得（母語習得、第2言語習得）
6	音声について（調音器官、子音、母音、半母音、発音記号）
7	音素と異音
8	音素と音韻規則
9	中間試験
10	語と形態素
11	形態素と異形態： 形態素の類別、語幹と接辞
12	語と品詞（動詞、形容詞、名詞、副詞）
13	語形成： 複合と派生
14	語形成： 混成、短縮、転換、等
15	まとめと復習
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

ある説明を理解するには先週の説明を分かっているといけないうように、毎週の説明が積み上げ方式になっているのが普通なので、一回でも休むとついて行けなく場合がよくある。その覚悟で授業に臨むようにすること。第6週から第14週までのテーマについては、プリントを配布して補うので、どちらかという今回採用されたテキストは概論II向けになっている。

## 【評価方法】

主に中間試験と期末試験の成績で評価する。

## 【テキスト】

田中春美、他『入門ことばの科学』大修館書店（2003年）

## 【参考文献】

佐久間淳一、加藤重広、町田健 『言語学入門』 研究社 （2004年）  
 上山あゆみ 『はじめての人の言語学- ことばの世界へ』 くろしお出版 （1991年）  
 大津由紀雄（編） 『はじめて学ぶ言語学』 ミネルヴァ書房 （2009年）

## 言語学概論Ⅱ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前期の言語学概論Ⅰでは、言語学を外観することを狙いとした。言語学概論Ⅱでは、一歩踏み込んで「ヒトの認知」について考えたい。例えば、ことばを使って相手とコミュニケーションをする時に、私たちは頭の中でどのように情報を処理しているのか、また、自分と相手との関係から成り立つ複雑な社会構造は私たちの脳の中にどのように反映されているのか、サルやヒトの例を用いて総合的理解を深める。

### 【授業の展開計画】

関連分野との学問的交流の意味で、数人のゲストスピーカーを予定している。詳細は講義内で連絡する。

### 【履修上の注意事項】

特になし。

### 【評価方法】

出席状況，受講姿勢，課題など総合的に判断する。

### 【テキスト】

開 一夫，長谷川寿一『ソーシャルブレインズ(自己と他者を認知する脳)』（2009年）  
クラス内でもう一冊紹介する。

### 【参考文献】

クラス内で適宜紹介する。

**国際コミュニケーション論**

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

**【授業のねらい】**

The aim of this class is to examine communication styles from a broad number of platforms. The core platform being different ethnicities. We shall explore and analyze influencing factors that contribute to successful communication and also the breakdown of communication.

**【授業の展開計画】**

A detailed list of the class format will be distributed on the first day of meeting. Students will be required to purchase the class textbook and will be expected to bring it every class. The text will be supplemented where necessary by the instructor. Students should bring a binder to keep all the handouts and notes together.

**【履修上の注意事項】****【評価方法】**

① Attendance & Participation ② Assignments ③ Final Paper

**【テキスト】**

TBA

**【参考文献】**

Brenda J. Allen. 2010. Difference Matters: Communicating Social Identity. Waveland Pr Inc.

## コミュニケーション概論

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This course is designed to introduce students to the study of communications.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Class Introduction and Registration Check
2	Facial Communication and Eye Contact
3	Gestures and Body Movement
4	Space and Distance
5	Time in Communication
6	Exam 1
7	Gender and Communication Style
8	Culture and Communication Style
9	Self-disclosure & Self-assertiveness
10	Active listening
11	Conflict management
12	Exam 2
13	Cultural Values
14	Ethnocentrism
15	Barriers to Communication: Stereotypes, Prejudice & Discrimination
16	Exam 3

## 【履修上の注意事項】

This course is taught primarily in English.

## 【評価方法】

Attendance, Three Exams & Class Participation

## 【テキスト】

Beyond Boundaries: Insights into Culture and Communication, Ikeguchi, Cecilia & Yashiro, Kyoko, Pearson Longman. Available at Asano Bookstore on OKIU Campus

## 【参考文献】

## CALL 教授法

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

本講義は、英教法 I 及び英語教材研究では扱えない CALL 機器を活用した教授実践を行います。従って、英教法履修者は、“原則”履修することが望ましいです。先ず、CALL 教室の可能性を一斉授業の中で確認します。次に、教師卓の機器使用法を受講者一人ひとりに demo を通じて伝えます。最後に、受講生各自が教師となり、CALL 機器を使用した授業を行います。その際、CALL 教授にふさわしい教材作成が必要になります。もつとも、教材開発までは求めず、市販の教材を加工して教育機器の長所を導き出す工夫を目指します。

## 【授業の展開計画】

## 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡ください。
- ③ 課題は、期限までに毎時完成させましょう。
- ④ 携帯電話は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

## 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 教材作成
- ⑧ CALL 教授実践

## 【テキスト】

講義内で連絡します。

## 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 時事英語

担当教員 ヒーター シブソン

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This class will be designed and redesigned through a process of negotiation based on students priorities, unfolding events in Okinawa, Japan and the world, and previous media projects which I have been involved with in Okinawa. Possibilities are likely to include an examination of reports into the recent Tohoku catastrophe, and appropriate courses of action to take in response, how controversial events are reported in Okinawa, and a group reporting project.

### 【授業の展開計画】

Course structure will be organised after an initial needs assessment.

### 【履修上の注意事項】

While use of English may be encouraged in this class, this will only be within meaningful contexts. In other words, where Japanese explanation and discussion lead to greater understanding of issues involved, these will be most welcome.

### 【評価方法】

Evaluation will also be negotiated with the class, but is likely to include attendance, group work, and a final report.

### 【テキスト】

Students are not required to buy a textbook, but please read the newspapers and watch TV news!

### 【参考文献】



## 専門演習 I

担当教員 松田 節子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

この演習と後期の専門演習Ⅱでは、バイリンガル教育とバイリンガリズムについて学際的な見地から広範な話題を取り上げる。主な話題は、バイリンガル教育の基礎知識、カナダ、アメリカ、および日本におけるバイリンガル教育の実態、日本の外国人児童生徒教育、バイリンガル育成の理論的モデル、などである。

### 【授業の展開計画】

最初の授業の際に、詳しいシラバスを配布する。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 指定された箇所を熟読して、必ず質問や意見を準備して授業に臨むこと
- (3) 積極的に授業に参加すること
- (4) テキスト、ノート、筆記用具、電子辞書を持ってくること
- (5) 携帯電話等の電源を切ること

### 【評価方法】

出席、課題、プレゼンテーション、授業態度、授業への貢献度、レポートなどから総合的に評価する。

### 【テキスト】

選定中

### 【参考文献】

適宜紹介する。

**専門演習 I**

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

**【授業のねらい】**

This course aims to introduce students to European Culture via a visit to the unique non-denominational festivals and celebrations. Thirteen nations will be introduced and each pair or group of learners (depending on class size) will be assigned a country. Through their research, reports and presentations the participants will form a collaborative learning forum and student centered classroom.

**【授業の展開計画】**

The first four meetings of this class shall be dedicated to review and demonstration of presentation techniques. Students will be divided into pairs or groups and allowed to choose a European country of interest. From May students will be expected to present their research to their peers on two occasions before the end of the semester.

**【履修上の注意事項】**

The participants are required to meet with their Instructor during office hours the week before their presentation.

**【評価方法】**

Oral presentation (x2) 60% Final paper 20% Participation & attendance 20%

**【テキスト】**

There is no text for this class

**【参考文献】**

To be announced in class.

## 専門演習 I

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The themes developed in this seminar will be negotiated with students, and can include, but will not be limited to, social, cultural, political and linguistic issues on both global or local levels. Some of the work done in this seminar might stand as preparatory work for a graduation thesis written in the following year. The first semester work will involve group work resulting in a research paper and a presentation.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Mapping the World Exercise
3	Research Topics, Resources and Methods
4	World Views (Small Group Meeting)
5	Fieldwork and Group Consultations
6	Global Systems and Organizations (NGOs etc.) (Group Research Plans)
7	The Environment
8	War and Peace, Economic Justice, Human Rights
9	Fieldwork and Group Consultations
10	Group Presentations (Group Papers due)
11	Group Presentations (Group Papers due)
12	Individual Topics Selection
13	Fieldwork and Individual Consultations
14	Submission of Research Plan including Bibliography for Individual Report
15	Fieldwork and Individual Consultations
16	Work in Progress Oral Presentations

### 【履修上の注意事項】

Students should be prepared to write and speak in English.

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, group work, class participation and written assignments.

### 【テキスト】

No Text

### 【参考文献】

Students should be prepared to follow the APA Publication Manual. Examples will be provided.

## 専門演習 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

イギリスの代表的な劇作家シェイクスピアの作品を読みます。前期は「ブルータスおまえもか」で有名な劇 Julius Caesarを取り上げ、受講生みんなでディスカッションをしながら読み進めていきます。シェイクスピアの豊かな比喻表現に触れ、読解力を鍛えるとともに、キリスト教やギリシャ神話についての一般教養的な知識も少しずつ身に付けていくことを目指します。

## 【授業の展開計画】

- ・スケジュールの詳細については、初回の授業で通知します。
- ・場面全体の流れをつかむために訳本やビデオを参考にしながら、重要なセリフに関しては原文を精読します。
- ・いくつかのグループに分かれ、毎週担当を決めて発表してもらいます。
- ・指定されたテーマについて、学期末にレポートを提出してもらいます。

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

発表内容と学期末レポートにより総合的に評価します

## 【テキスト】

初回の授業で指示します

## 【参考文献】

Julius Caesar 大場建治注釈（大修館）  
『シェイクスピア大辞典』荒井良雄他編集主幹（日本図書センター）

## 専門演習 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

英語の『なぜ?』に答える形で講義を行います。“I’m loving it.” はなぜ進行形で表現出来るのか。“psychology” の “p” はなぜ発音されないのか。日本語では家畜名「豚」に「肉」を付けるだけで食肉の「豚肉」になるのに、英語では“pig” を “pork” と表現し、“pig meat” と普通なぜ表現しないのか。“look” は視線を向けて見るはずなのに、“He looks happy.” と「...のように見える」といった意味になるのは?なぜ、“He sees happy.” と言えないのか。これらの疑問を解明しながら、英語全般に関する知識を深めます。

## 【授業の展開計画】

## 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

## 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation
- ③ 疑問解明度
- ④ 質疑応答・全体討論
- ⑤ task 評点
- ⑥ 受講姿勢

## 【テキスト】

講義内で適宜配布します。

## 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 専門演習 I

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The purpose of this class is to prepare students to write their graduation theses. In addition, it is hoped that students will gain confidence in writing in English.

### 【授業の展開計画】

Classes will guide students in how to get started on their graduation theses, which they will write during their senior years. In particular, students will receive guidance about how to choose a topic, do research, take notes, outline their papers, cite sources, write their Works Cited list, and avoid plagiarism.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to class / Self-introductions
2	Lecture: How to Write Your Graduation Thesis (Overview)
3	Lecture: Choosing your topic / Group discussion
4	Lecture: The Writing Process / DUE: Topic choice and statement of research goals
5	Lecture: How to Discuss Literature / Group discussion
6	Lecture: Taking Notes / DUE: Book summaries
7	Lecture: Writing a Works Cited list
8	Discussion of student work / DUE: Works Cited list
9	Lecture: Avoiding Plagiarism / Group activity
10	Group discussion on topics
11	Group discussion on topics
12	Group discussion on topics
13	Lecture: Formatting your thesis / MSWord hints and advice
14	Student Presentations
15	Student Presentations
16	Semester Review / Evaluations

### 【履修上の注意事項】

This class is for students who are considering writing their graduation theses in English. As for theme, I hope that students will be interested in literature, especially Okinawan literature; however, I will be flexible about accepting other research topics.

### 【評価方法】

Grades will be based on attendance, class participation, short tests, submitted work, and presentations.

### 【テキスト】

No text is required; however, students will be expected to purchase materials for their own research. In addition, students will sometimes be asked to provide copies of materials. Students should bring an electronic dictionary and a B5 notebook to every class.

### 【参考文献】

1. MLA Handbook for Writers of Research Papers (Seventh Edition) by Joseph Gibaldi.  
(Or the Japanese translation.)
2. APA論文作成マニュアル

## 専門演習Ⅱ

担当教員 松田 節子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

バイリンガル教育とバイリンガリズムについて前期の専門演習Ⅰで学んだことを基に、この演習ではさらに日本国内のバイリンガル教育（とくに、イマージョン教育）の現状と課題について深く掘り下げていく。

### 【授業の展開計画】

最初の授業の際に、詳しいシラバスを配布する。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 指定された箇所を熟読して、必ず質問や意見を準備して授業に臨むこと
- (3) 積極的に授業に参加すること
- (4) テキスト、ノート、筆記用具、電子辞書を持ってくること
- (5) 携帯電話等の電源を切ること

### 【評価方法】

出席、課題、プレゼンテーション、授業態度、授業への貢献度、レポートなどから総合的に評価する。

### 【テキスト】

選定中

### 【参考文献】

適宜紹介する。

## 専門演習Ⅱ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This course is a continuation of Third Year Seminar I. Students will complete their research projects and make oral presentations based on those projects.

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Fieldwork and Individual Consultations
3	Submission of Introduction and Body
4	Return of Introduction and Body
5	Submission of Full First Drafts
6	Return of First Drafts
7	Fieldwork and Individual Consultations
8	Submission of Second Drafts
9	Return of Drafts
10	Individual Consultations
11	Deadline for Final Drafts
12	Preparations for Oral Presentations
13	Oral Presentations
14	Oral Presentations
15	Oral Presentations
16	Oral Presentations

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

Students will be evaluated based on their attendance, ability to meet deadlines, research paper, and oral presentation.

### 【テキスト】

There is no text for this class.

### 【参考文献】

Students should be prepared to follow the APA Publication Manual. Examples will be provided.



## 専門演習Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

前期に引き続き、シェイクスピアの作品とその時代背景について学びます。後期はシェイクスピアの喜劇 A Midsummer Night's Dream『夏の夜の夢』を読みます。

## 【授業の展開計画】

- ・スケジュールの詳細については、初回の授業で通知します。
- ・場面全体の流れをつかむために訳本やビデオを参考にしながら、重要なセリフに関しては原文を精読します。
- ・いくつかのグループに分かれ、毎週担当を決めて発表してもらいます。
- ・指定されたテーマについて、学期末にレポートを提出してもらいます。

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

学期末レポート、授業への貢献度を総合的に評価します

## 【テキスト】

初回の授業で指示します

## 【参考文献】

A Midsummer Night's Dream 石井正之助注釈（大修館）  
『シェイクスピア大辞典』荒井良雄他編集主幹（日本図書センター）

## 専門演習Ⅱ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前期の専門演習Ⅰでは、宗教的意味合いのない祝祭に焦点をあて、様々なヨーロッパ文化について学んだ。後期は、ヨーロッパで話されている言語の成り立ちや歴史的背景、また言語の特徴などに焦点をあてる。グループ単位で調査、プレゼンテーション、レポート作成を行なう。

### 【授業の展開計画】

詳細は講義内で連絡する。

### 【履修上の注意事項】

特になし。

### 【評価方法】

出席状況、受講姿勢、課題、プレゼンテーションなど総合的に判断する。

### 【テキスト】

テキストは使用しない。

### 【参考文献】

講義内で適宜紹介する。

## 専門演習Ⅱ

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

This class is a continuation of 専門演習Ⅰ and will continue to prepare students to write their graduation theses.

### 【授業の展開計画】

After reviewing the first semester, students will be asked to write a statement outlining their research plans for the following year. Students will also be asked to write a tentative draft of the first few pages of their graduation theses. Group discussions will focus on students' individual works.

週	授 業 の 内 容
1	Review of first semester
2	Lecture: Developing a research plan
3	Discussion: Research plans / DUE: Research plans
4	Lecture: Developing a meaningful thesis statement / Group discussion
5	Lecture: Revising your thesis / Group discussion
6	Lecture: Taking notes effectively / Group discussion
7	DUE: Graduation thesis introductions and notes
8	Group discussion of student work
9	Lecture: Revising effectively / Pair Checks
10	Revising introductions
11	Lecture: Editing effectively / Discussion: Common errors in student writing
12	Discussion: Common errors in student writing
13	Lecture: Giving a PowerPoint presentation / Group discussion
14	Student Presentations
15	Student Presentations
16	Review / Evaluations

### 【履修上の注意事項】

This class is for students who are considering writing their graduation theses in English. Generally speaking, students should have taken 演習Ⅰ with me. Students should be prepared to do a lot of writing in English.

### 【評価方法】

Grades will be based on attendance, class participation, short tests, submitted work, and presentations.

### 【テキスト】

No text is required; however, students will be expected to purchase materials for their own research. In addition, students will sometimes be asked to provide copies of materials. Students should bring an electronic dictionary and a B5 notebook to every class.

### 【参考文献】

1. MLA Handbook for Writers of Research Papers (Seventh Edition) by Joseph Gibaldi.  
(Or the Japanese translation.)
2. APA論文作成マニュアル

## 専門演習Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

英語の『なぜ?』に答える形で講義を行います。例えば、動詞“go”の活用形は“go, went, gone”ですが、過去形の“went”だけ形が大きく違うのはなぜ? “Do you know him?”といった簡単な言い方があるのに、“Do you know who he is?”といった言い方を/出来るのはなぜ? “I think that 文.”を“I think 文.”と“that”を省いて表現するのはなぜ? “play baseball”なのに“play the violin”とするのは? そもそも、大文字と小文字があるのは? これらの疑問を解明しながら、英語全般に関する理解を深めていきます。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② presentation
- ③ 疑問解明度
- ④ 質疑応答・全体討論
- ⑤ task 評点
- ⑥ 受講姿勢

### 【テキスト】

講義内で適宜配布します。

### 【参考文献】

講義内で適宜配布または連絡します。

## 早期英語教育

担当教員 津波 聡

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

第2言語習得の理論や事例を基に、早期英語教育の概要を学びます。又、日本の早期英語教育、特に小学校英語教育の現状や課題について学習します。

### 【授業の展開計画】

前半はグループ発表やディスカッションを通して第二言語習得や早期英語教育について学習し、後半は小学校英語の現状や課題、基本的な指導技術についてワークショップ形式で学習し、グループ単位の模擬授業を行います。

### 【履修上の注意事項】

- (1) 座席はグループごとに座る
- (2) 無断欠席・遅刻をしない  
(遅刻2回で欠席1回と見なします。1/3以上欠席の場合単位は認められません。)
- (3) グループ発表、ワークショップの前に課題図書を熟読しておく
- (4) 辞書持参

### 【評価方法】

- (1) 授業態度、クイズ、課題（グループ発表、ブックリポート）を総合的に評価します。

### 【テキスト】

講義の中で連絡します。

### 【参考文献】

講義の中で適宜紹介します。

## 卒業論文 I

担当教員 新垣 實

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

基礎演習I~IV・専門演習I~IVで学んだことを基にして卒業論文を各自書きます。英米言語文化学科で学んだことに関する諸分野（英米文学・言語学・文化・など）から各自テーマを選び、数ヶ月かけてサーチする。その成果を卒業論文として作成するとともに、クラスで発表し、卒業論文集としてまとめる。

### 【授業の展開計画】

- 第1週 オリエンテーション
- 第2週 キャリアガイダンス
- 第3週 図書館オリエンテーション
- 第4週 卒論とは・卒論のテーマ設定
- 第5週 卒論を書くには（1）
- 第6週 卒論を書くには（2）
- 第7週 卒論の形式・卒論テーマ発表
- 第8週 卒論資料検索について
- 第9週 卒論資料収集について
- 第10週 卒論資料集経過発表
- 第11週 資料収集
- 第12週 資料収集
- 第13週 卒論概略作成
- 第14週 卒論概略作成
- 第15週 卒論概略発表
- 第16週 まとめ

### 【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- 2) 積極的に授業に参加すること
- 3) 授業中に私語・居眠りをしないこと
- 4) 教室では携帯電話の電源を切ること

### 【評価方法】

出席率、授業態度、授業への貢献度、レポートの内容および課題発表の出来

### 【テキスト】

プリンと教材を準備する。

### 【参考文献】

参考文献は各自のテーマに沿って紹介する。

## 卒業論文 I

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This class is intended to enable students to make substantial progress towards completing their graduation thesis. Research topics will be chosen by students themselves, but they are encouraged to write about areas in which they have a strong personal or career related interest. Students are also encouraged to have their topics approved by the instructor.

## 【授業の展開計画】

In collaboration with the teacher, students will work on a research proposal, during which other scholars, members of the public and other academic resources may be identified. By the end of the term, students will be expected to have completed an initial draft, and will be expected to make an initial oral report on their research.

週	授 業 の 内 容
1	Registration, self introduction, course introduction
2	Introduction to topic selection
3	Introduction to research methodologies
4	Submission of topics and discussion
5	Bibliography writing, notes and plagiarism
6	Fieldwork and individual consultations
7	Submission of research plan and bibliography, etc.
8	Discussion of research plan and bibliography, etc.
9	Fieldwork and individual consultations
10	Submission of introductory paragraphs
11	Return of introductory paragraphs
12	Oral Presentation Preparation Day
13	Interim Oral Presentation
14	Interim Oral Presentation
15	Interim Oral Presentation
16	Interim Oral Presentation

## 【履修上の注意事項】

While a degree of flexibility is possible in oral presentations, written work can only be accepted in English.

## 【評価方法】

Evaluation will be based on students' accomplishment of the tasks outlined above, as well as on regular attendance and communication with the teacher.

## 【テキスト】

Students will be expected to draw on a range of resources which could include, but is not restricted to, books, internet sites and other media, interviews and questionnaires.

## 【参考文献】

Students will be expected to follow guidelines set forth in the APA Publication Manual.

## 卒業論文 I

担当教員 津波 聡

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

研究論文に関する研究計画、データ収集・分析、論文執筆方法等について学習した後、トピックを決定し、文献ノート・研究概要を作成します。

### 【授業の展開計画】

4～5月 論文に関する講義、ディスカッション  
5～6月 トピック決定、先行文献研究  
6～7月 文献ノート作成  
7～8月 研究概要作成

### 【履修上の注意事項】

- ① 無断欠席・遅刻をしない  
(遅刻2回で欠席1回とみなします。3分の1以上欠席の場合単位は認められません。)
- ② 提出期限厳守

### 【評価方法】

授業態度(出席率、発言、積極性)、提出物を総合的に評価します。

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。



## 卒業論文 I

担当教員 李 イニッド

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

大学生生活の集大成として、各自が設定したテーマに沿って、学術論文作成の基本を学びながら、オリジナルな論文に仕上げることがを目指す。対象分野は、言語学や、外国語教育、コミュニケーション、異文化理解などである。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション
2	テーマ設定
3	調査方法
4	文献収集と整理
5	参考文献の引用
6	データ分析と考察
7	アウトラインの作成・提出
8	参考資料リストの作成・提出
9	論文の構成 (1)
10	” (2)
11	” (3)
12	論文執筆・個別指導 (1)
13	” (2)
14	” (3)
15	口頭発表・草稿提出 (1)
16	” (2)

## 【履修上の注意事項】

特になし

## 【評価方法】

出席・授業参加態度 (50%)、課題・口頭発表 (50%)

## 【テキスト】

授業内で連絡する。

## 【参考文献】

個別テーマに応じて適宜配布または紹介する。

## 卒業論文 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本講では、卒業論文作成のための基本的なルールや論の組み立て方について学びます。受講生各自の興味関心に応じてテーマを設定し、関連する文献・資料の読解を十分に行いつつ考察を深め、後期には卒業論文を完成させます。説得力のある文章を書くには、しっかりと読むことが重要です。そこで前期は、受講生各自でいくつか文献を選び、その内容についてレポートしてもらいます。同時に、論文テーマの絞り込みと、アウトラインの作成を行います。

### 【授業の展開計画】

4月～5月 各自の関心のある領域から文献をいくつか読み、レポートする。  
6月 扱う作家や作品、テーマ領域を絞り込む。  
7月 大まかなアウトラインをたて、実際に書き始める。  
8月～9月 参考文献の収集とその整理

### 【履修上の注意事項】

イギリスの文化や文学をテーマに考えている学生の受講が望ましい

### 【評価方法】

授業への貢献度、発表、課題を総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリントを配布する

### 【参考文献】

『論文の書き方』澤田昭夫著、講談社  
『思考の整理学』外山滋比古著、筑摩書房  
『論文の教室』戸田山和久著、NHKブックス

## 卒業論文 I

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

アメリカ文学一般、及びアメリカの文化に関する論文を書くことを目指す。

### 【授業の展開計画】

前半は、論文の書き方についてのテキストを読み、論文のテーマ、本論の構成、注や参考文献の使い方など、論文執筆のための必須事項を学ぶ。また、幾つかの文学作品を読み、グループ発表に基づきディスカッションを行う。後半は、各自でテーマの設定、アウトラインの組み立て、資料の収集などの作業を行い、第一次中間発表を行う。

### 【履修上の注意事項】

特になし

### 【評価方法】

授業への積極的な参加、テーマ・アウトラインの進捗状況、第一次中間発表などにより評価する。

### 【テキスト】

『卒論を書こう』 榎木伸明、三修社（予定）、及びプリント教材

### 【参考文献】

『知的生産の技術』 梅棹忠夫、岩波新書、『レポートの組み立て方』 木下是雄、ちくまライブラリー、『知の技法』 小林康雄・船曳建夫編、東京大学出版会。その他、適宜紹介する。

## 卒業論文 I

担当教員 尚 真貴子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

この演習と後期の卒業論文Ⅱでは、大学生活4年間の締めくくりとして明快で論理的な論文を書くことを目的とする。テーマについてはバイリンガル教育、第二言語習得、日英語比較など、言語教育・言語文化に関するものであればとくに限定しない。前期は、まず資料の収集方法、資料の読み方、論文の体裁、執筆方法など、論文作成の基本を再確認する。続いて、テーマ発表や論文の概要などについて発表する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
3	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
4	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
5	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
6	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
7	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
8	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
9	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
10	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
11	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
12	個人発表（論文概要について）
13	個人発表（論文概要について）
14	個人発表（論文概要について）
15	個人発表（論文概要について）
16	まとめおよび夏季休暇中の作業日程の確認

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- (2) ゼミは学生中心なので積極的に参加すること
- (3) 提出物は締切を厳守すること
- (4) 教室では携帯電話の電源を切ること

## 【評価方法】

出席率、発表内容、討議への貢献度、など総合的な観点から評価する。

## 【テキスト】

選定中

## 【参考文献】

各自の研究テーマに応じて適宜紹介する。

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 尚 真貴子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

前期の卒業論文Ⅰに引き続き、卒業論文をまとめあげていくことを目的とする。後期は夏季休暇中におおよそ書き上げた各自の論文について中間発表をすることから始める。発表する時は、レジュメ、参考文献リストおよび資料を準備し、ゼミのメンバー全員に配布する。この段階で論文の体裁、参考文献リストの様式などについて再度チェックする。あわせて、発表後の討議と講評を参考に論文をよりよい内容にまとめていく。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	中間発表（討議および講評）
3	中間発表（討議および講評）
4	中間発表（討議および講評）
5	中間発表（討議および講評）
6	中間発表をうけての個人面談および指導
7	中間発表をうけての個人面談および指導
8	中間発表をうけての個人面談および指導
9	中間発表をうけての個人面談および指導
10	中間発表をうけての個人面談および指導
11	下書き原稿提出
12	下書き原稿返却、加筆修正
13	下書き原稿加筆修正
14	最終原稿提出
15	論文最終発表会（学外ゼミ）
16	卒業論文集作成

## 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) ゼミは学生中心なので積極的に参加すること
- (3) 提出物は締切を厳守すること
- (4) 教室では携帯電話の電源を切ること

## 【評価方法】

出席、発表内容、討議への貢献度、卒業論文の内容、など総合的な観点から評価する。

## 【テキスト】

適宜プリントを配布する。

## 【参考文献】

各自の研究テーマに応じて適宜紹介する。

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

後期は実際の執筆作業を通して、論理構成の方法や論文作成上のルールについて学ぶ。

### 【授業の展開計画】

後期はじめに中間発表を行い、その後は個別指導が中心となる。

10月 各自の論文の中間報告

11月～12月 個別指導

12月半ば 完成論文の提出

1月 論文の手直しと再提出

### 【履修上の注意事項】

論文提出の締切りは厳守すること

### 【評価方法】

授業への貢献度、発表、論文内容によって総合的に判断する

### 【テキスト】

プリントを配布します

### 【参考文献】

『論文の書き方』澤田昭夫著、講談社

『思考の整理学』外山滋比古著、筑摩書房

『論文の教室』戸田山和久著、NHKブックス

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 4年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

基礎演習Ⅰ～Ⅳ・専門演習Ⅰ～Ⅳで学んだことを基にして卒業論文を各自書きます。英米言語文化学科で学んだことに関する諸分野（英米文学・言語学・文化・など）から各自テーマを選び、数ヶ月かけてサーチする。その成果を卒業論文として作成するとともに、クラスで発表し、卒業論文集としてまとめる。

### 【授業の展開計画】

- 1回 オリエンテーション
- 2回 卒論第1回中間発表
- 3回 卒論第1回中間発表
- 4回 卒論作成
- 5回 卒論作成
- 6回 卒論作成
- 7回 卒論第2回中間発表
- 8回 卒論第2回中間発表
- 9回 卒論作成
- 10回 卒論作成
- 11回 卒論作成
- 12回 卒論発表
- 13回 卒論発表
- 14回 卒論発表
- 15回 卒論発表
- 16回 まとめ

### 【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- 2) 積極的に授業に参加すること
- 3) 授業中に私語・居眠りをしないこと
- 4) 教室では携帯電話の電源を切ること

### 【評価方法】

出席率、授業態度、授業への貢献度、レポートの内容および課題発表の出来

### 【テキスト】

プリンと教材を準備する。

### 【参考文献】

参考文献は各自のテーマに沿って紹介する。

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 李 イニッド

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

大学生活の集大成として、各自が設定したテーマに沿って、学術論文作成の基本を学びながら、オリジナルな論文に仕上げることがを目指す。対象分野は、言語学や、外国語教育、コミュニケーション、異文化理解などである。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション
2	中間報告(1)
3	” (2)
4	論文執筆・個別指導(1)
5	” (2)
6	” (3)
7	” (4)
8	論文仮提出
9	手直し
10	論文再提出
11	手直し
12	論文本提出
13	口頭発表・質疑応答(1)
14	” (2)
15	” (3)
16	” (4)

## 【履修上の注意事項】

特になし。

## 【評価方法】

出席・授業参加態度(50%) 口頭発表・論文提出(50%)

## 【テキスト】

講義内で連絡する。

## 【参考文献】

個別テーマに応じて配布または紹介する。



## 卒業論文Ⅱ

担当教員 津波 聡

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

先行論文研究、データ収集・分析、論文を執筆を行い、発表会において研究内容を報告する。

### 【授業の展開計画】

10～11月 1st draft作成

11～12月 2nd draft作成

1～2月 卒論研究発表会

### 【履修上の注意事項】

- ① 全体指導、個別指導の祭は無断欠席・遅刻をしない  
(遅刻2回で欠席1回と見なします。3分の1以上の欠席は単位が認められません。)
- ② 提出期限厳守

### 【評価方法】

出席状況、論文内容、発表、提出期限を総合的に評価します。

### 【テキスト】

講義内で適宜配布します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 追立 祐嗣

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

アメリカ文学一般、及びアメリカ文化に関する論文を書くことを目指す。

### 【授業の展開計画】

夏期休暇中までに、各自でテーマのさらなる絞り込み、詳細なアウトラインの作成、資料の追加収集などの作業を行い、10月・11月に第二次中間発表を行う。12月下旬に草稿を提出し、修正後、1月下旬～2月中旬に完成原稿を提出し、印刷を行う。

### 【履修上の注意事項】

特になし

### 【評価方法】

原則として、完成論文の提出者には単位を与えるが、中間発表、授業への積極的な参加、完成論文などを総合的に考慮して成績の評価を行う。

### 【テキスト】

プリント教材を使用する。

### 【参考文献】

『知的生産の技術』梅棹忠夫、岩波新書、『レポートの組み立て方』木下是雄、ちくまライブラリー、『知の技法』小林康雄・船曳建夫編、東京大学出版会。その他、適宜紹介する。

## 卒業論文Ⅱ

担当教員 ヒーター シブツソ

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This class is intended to enable students to complete their graduation thesis, building on the discussions and research from last term.

## 【授業の展開計画】

In collaboration with the teacher, students will work on refining drafts of their theses, and make a final presentation sharing the results of their work with the class.

週	授 業 の 内 容
1	Second Semester Registration, Course Introduction
2	Fieldwork and individual consultations
3	Submission of Body (minimum of 10 pages)
4	Return of body
5	Resubmission of entire Body
6	Fieldwork and individual consultations
7	Submission of entire first draft including Cover Page, Outline, Text, Bibliography, Notes
8	Return of first draft
9	Submission of second draft
10	Return of second draft
11	Individual Consultations
12	Submission of final drafts
13	Oral Presentations
14	Oral Presentations
15	Oral Presentations
16	Oral Presentations

## 【履修上の注意事項】

While a degree of flexibility is possible in oral presentations, written work can only be accepted in English.

## 【評価方法】

Evaluation will be based on students' accomplishment of the tasks outlined above, as well as on regular attendance and communication with the teacher.

## 【テキスト】

Students will be expected to draw on a range of sources which could include, but is not restricted to, books, internet sites and other media, interviews and questionnaires.

## 【参考文献】

Students should follow the standards of the APA Publication Manual.

## Discussion Skills

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The goal of this class is to enhance and develop student's discussion skills by giving them a forum in which to use and improve them. Various types of discussion will be analyzed and effectuated. With close attention being paid to appropriate language for different settings. Please note that this class will be conducted entirely in English.

### 【授業の展開計画】

We shall be working through the assigned textbook from the third meeting onwards.

### 【履修上の注意事項】

As this is an English Discussion Skills class, the prospective student should note that using Japanese in the classroom will result in a reduced grade. We simply can't improve our English if we speak Japanese.

### 【評価方法】

60% of this class grade will be earned in the class during the semester. A detailed breakdown will be provided on the first day of classes. 40 % will come from two oral performances

### 【テキスト】

Details of the text will be given on the first day of class.

### 【参考文献】

## Debate

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The aim of this course is to introduce students to the theory and practice of debate, with an emphasis on actual debating. Students will also receive some guidance in public speaking, especially as it pertains to debate.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to class and methods, self-introductions
2	Differences between debate and conversation, types of debate
3	The value of debate, debate and culture, developing a critical attitude
4	Principles of debate, preparing for a debate, outlining
5	Basics of public speaking
6	Debate 1 (easy topic)
7	Introduction to policy debate
8	Debate preparation in groups
9	Debate preparation in groups
10	Debate 2 Resolved: That English Should be Taught in All Japanese Elementary Schools
11	Evaluation of Debate 2, choosing topic for final debate
12	Debate preparation in groups
13	Debate preparation in groups
14	Debate rehearsal and critique
15	Debate 3: Formal Policy Debate on a Student-Chosen Topic
16	Review

## 【履修上の注意事項】

Students should be prepared to spend most of each period speaking in English. Debate speeches should neither be memorized nor read, but they should be well-rehearsed. Students may use note cards during their speeches, but they should be able to maintain eye contact with the audience. Let's have fun debating!

## 【評価方法】

Grades will be calculated as follows: class participation (10%), short test (10%), notes and evaluations (10%), easy debate (10%), simplified policy debate (25%), and full-blown policy debate (35%). However, students must attend at least 70% of all classes to receive a passing grade. DO NOT BE ABSENT FOR THE DEBATES.

## 【テキスト】

No textbook is required. However, students will be required to bring an electronic dictionary and a B5 notebook to every class. Students are expected to take extensive notes during class.

## 【参考文献】

None.

## 同時通訳

担当教員 島袋 美智子

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

通訳者の心構え、準備などについて述べ、訓練メニューの説明を行う。プロ通訳者DVD見る。リスニング強化、英語要約を行う。音読重視。逐次通訳及び同じテキストを用いてサイトラ、同時通訳の基礎訓練を行う。ペアワークについて学ぶ。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	通訳について、訓練メニュー、単語増強の必要性、リスニング強化について
2	テキスト1：シャドーイング、英語要約、逐次通訳、ノートテイキング
3	テキスト2：英語のインタビューを聞いて英語で要約を行う。新聞英語のサイトラを行う。
4	テキスト2：同じテキストでメモ、逐次通訳を行う。プロの通訳をテープやDVDで聞く。
5	テキスト2：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、ペアでプレゼンを行う。
6	テキスト3：数字の英語を聞いて通訳用メモを取り、日本語でアウトプットする。
7	テキスト4：映画の記者会見とプロの逐次通訳を聞く。通訳分析を行う（レポート提出用）
8	テキスト4：「通訳の極意」から日本語→英語へのサイトラ・トランスレーションの練習
9	テキスト5：日本語のスピーチを聞いて英語での要約を行う。逐次、同時通訳の訓練を行う。
10	テキスト5：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、プレゼンを行う（ペアで）
11	テキスト6：英語のスピーチを聞いて要約をする。メモ、逐次通訳を行う。
12	テキスト7：日本語のエッセイを聞いて英語で要約、メモ取りのプレゼンを行い、逐次通訳。
13	テキスト7：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、プレゼン（ペアワーク）
14	期末テストのリハーサル：PC録音のため、一度リハーサルを行う。
15	期末テストは通訳実技テストを録音する（同時通訳1つ、サイトラ・トランスレーション1つ）
16	

### 【履修上の注意事項】

遅刻は原則として認めない。理由如何により4分まで認めるがそれ以降は欠席扱いとする。  
 ラボ教室使用予定。スピーチ、音声録音用の記録メディア（USB、CD-ROM）を携帯して下さい。  
 クラス毎に課題があり、リスニング、シャドーイング、サイトラ・トランスレーションなどの予習が必要と考えて下さい。出席を重視しますのでなるべく休まないようにして下さい。

### 【評価方法】

1. 学期の終了時に通訳実技テストを行う（成績は5段階で評価。3以上が講座を修了することができる）
2. 出席に関しては全クラスのうち三分の二以上を修了の条件とする。出席を重視する。
3. 課題として「プロ通訳パフォーマンス分析」のレポートを提出する。

### 【テキスト】

1. 「通訳の極意」著者：小林淳夫（こばやしあつお）出版社：（株）南雲堂フェニックス 03-3202-5625
2. 講師の編集する自主テキスト（新聞記事、online記事、スピーチ及びインタビューテキスト、DVD など）

### 【参考文献】

1. 「トレンド日米表現辞典」小学館 03-3230-5745
2. 電子辞書（少なくとも20万語以上の英語辞書、広辞苑）
3. 通訳翻訳ジャーナル
4. 英語字幕つきのシネマ
5. 単語増強用ノート

## 日英語比較研究

担当教員 松田 節子

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

この講義では日本語と英語の比較を行い、日本語らしさ、英語らしさの要因を整理する。整理の方法としては、日本人学習者が英語を習得する際に困難を感じる問題点を取り出し、構文、意味、音韻、発想などの各見地から英語との比較研究を試み、それらの困難点を克服する方法を探る。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	日本語の特質
2	語彙と意味の比較（単語と意味の対応関係、色彩語彙の比較）
3	語順の比較（OV言語とVO言語）
4	プレゼンテーション
5	発音の比較（音韻構造とアクセント）
6	文の構造と主語の比較（主語の立て方、主語の顕示と暗示）
7	プレゼンテーション
8	問題点の整理とまとめーその1
9	時に関する比較（テンスとアスペクト）
10	肯定・否定に関する比較（否定の内容と肯定文、部分否定、否定疑問に対する答え）
11	プレゼンテーション
12	待遇表現に関する比較（ポライトネス）
13	表現構造の比較（<スル>的な言語と<ナル>的な言語）
14	文化と発想の比較（ことわざ）
15	問題点の整理とまとめーその2
16	テスト

## 【履修上の注意事項】

この科目の登録を希望する者は、できれば、「英語学概論」、「英語学特殊講義Ⅰ」、「日本語学概論」、「日本現代語文法Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを履修済みであることが望ましい。英語教育、日本語教育に関心のある者だけでなく、日本語との比較の視点から自己の英語学習を効果的に進めたいと考えている者にも受講を勧めたい。

## 【評価方法】

出席、プレゼンテーションの内容と発表態度、授業への貢献度、テストなど総合的な観点から評価する。

## 【テキスト】

選定中（講義開始時に指定する。）

## 【参考文献】

適宜紹介する。

## 日本語現代文法 I

担当教員 野原 優一

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ことばにはいろいろな決まりがあるわけだが、その続け方（言語表現の組み立て方）の決まりを文法という。本講では日本語の基礎的な文法事項を取り扱いながら、日本語について考察を深める。日常会話における助詞「は」と「が」、「が」と「を」、「に」と「で」などのちがひ、および単語・品詞・構文論などを通して現代日本語の職能や用法を掌握する。前期（I）は、日本語の特徴・単語・品詞に重点を置いて学んでゆく。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス、社会生活と言葉
2	日本語要説（1）音声、音韻、単音、音節、アクセント
3	日本語要説（2）語彙の諸相、和語、漢語、外来語、混種語
4	日本語要説（3）文字、字音、常用漢字、表記法
5	文の組み立て、語
6	動詞（1）
7	動詞（2）
8	動詞（3）
9	中間テスト
10	形容詞（1）
11	形容詞（2）
12	判定詞
13	名詞・指示詞
14	副詞・連体詞
15	接続詞・感動詞
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

日本語教員免許取得を目指す学生には必修科目であり一年次からの履修となる。履修手続きに漏れのないように確認すること。尚、受講生の理解度に合わせて授業の展開計画を柔軟に変更する場合もある。

## 【評価方法】

①出席率 ②課題 ③試験 ④授業態度

## 【テキスト】

『基礎日本語文法 改訂版』益岡隆志 田窪行則共著 くろしお出版 ¥2200E

## 【参考文献】

『日本語の世界6 日本語の文法』北原保雄 中央公論社 昭和56年



## 日本語現代文法Ⅱ

担当教員 野原 優一

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ことばにはいろいろな決まりがあるわけだが、その続け方（言語表現の組み立て方）の決まりを文法という。本講では日本語の基礎的な文法事項を取り扱いながら、日本語について考察を深める。日常会話における助詞「は」と「が」、「が」と「を」、「に」と「で」などのちがひ、および単語・品詞・構文論などを通して現代日本語の職能や用法を掌握する。後期（Ⅱ）は、文の構造や日本語の特徴的表現などに重点を置く。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	助詞（1）
2	助詞（2）
3	助詞（3）
4	助動詞（1）
5	助動詞（2）
6	助動詞（3）
7	接辞
8	文の構造、単文
9	ヴォイス、ムード
10	テンスとアスペクト
11	複文（副詞節、連体節、並列節）
12	提題と取り立て
13	「は」と「が」
14	日本語の主語
15	うなぎ文
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

授業の展開計画を柔軟に変更する場合もある。

## 【評価方法】

①出席率 ②課題 ③試験 ④授業態度

## 【テキスト】

『基礎日本語文法 改訂版』益岡隆志 田窪行則 共著 くろしお出版 ￥2200

## 【参考文献】

荒川洋平 2007『続・もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』スリーエーネットワーク ￥1,260。  
北原保雄 昭和56年『日本語の世界6 日本語の文法』中央公論社

## 日本語表現法演習 I

担当教員 一ケリ 綾子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ピア活動（仲間同士が話し合いを通じて協力的に学びとる方法）を通してレポートの作成方法、議論の仕方を学びます。情報の収集法、分類、検討を行い、立場を明確にし、論理的に文章を展開する論証型のレポートを完成させることをめざします。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション 1課 この授業で何を学ぶかを知る
2	1課 レポートとは何か
3	2課 レポートの形を知り、アイデアを練る
4	2課 レポートのテーマ
5	3課 構想を練り、情報を調べる 仮テーマについて話し合う
6	図書館での情報収集法
7	4課 テーマを絞り込み、目標を規定する
8	5課 文章を組み立てる
9	6課 組み立てを再検討する
10	7課 パラグラフを書く①
11	7課 パラグラフを書く②
12	8課 本文を書き込んでいく
13	9課 引用しながら書く
14	10課 文章・表現・形式を点検する
15	13課 学んだことを振り返る
16	レポート提出

## 【履修上の注意事項】

ピア活動をしながら講義を進めますので、毎回出席でき、参加型の講義に積極的に活動しようという意欲のある学生は是非受講してください。毎回提出シートへの記入が義務づけられます。1組と2組は同じ内容で行うので人数調整をすることがあります。

## 【評価方法】

出席、毎回の活動、提出シート、レポートにて総合的に評価します。

## 【テキスト】

『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 プロセス重視のレポート作成』大島弥生他 ひつじ書房

## 【参考文献】

適宜指示します。

## 日本語表現法演習 I

担当教員 元山 由美子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ピア活動（仲間同士が話し合いを通じて協力的に学びとる学習活動）を通してレポートの作成方法、議論の仕方を学びます。情報の収集、分類、検討を行い、論理的に文章を展開する論証型のレポートを完成させることを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション 1課 この授業で何を学ぶかを知る
2	1課 レポートとは何か
3	2課 レポートの形を知り、アイデアを練る
4	2課 レポートのテーマ
5	3課 構想を練り、情報を調べる。 仮テーマについて話し合う
6	図書館での情報収集法
7	4課 テーマを絞り込み、目標を規定する
8	5課 文章を組み立てる
9	6課 組み立てを再検討する
10	7課 パラグラフを書く①
11	7課 パラグラフを書く②
12	8課 本文を書き込んでいく
13	9課 引用しながら書く
14	10課 文章・表現・形式を点検する
15	13課 学んだことを振り返る
16	まとめ レポート提出

## 【履修上の注意事項】

ピア活動をしながら講義を進めますので、毎回出席でき、自分の意見を持って積極的に参加してくれる意欲のある学生はぜひ受講してください。毎回提出シートへの記入が義務づけられます。1組と2組は同じ内容で行うので人数の調整をすることがあります。

## 【評価方法】

出席、毎回の活動、提出シート、レポートで 総合的に評価します。

## 【テキスト】

『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 プロセス重視のレポート作成』大島弥生他 ひつじ書房

## 【参考文献】

本多勝一『日本語作文の技術』朝日文庫

野口悠紀雄『「超」文章法』中公新書

木下是雄『レポートの組み立て方』ちくまライブラリー

## 日本語表現法演習Ⅱ

担当教員 元山 由美子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

ことばはコミュニケーションの重要な道具です。母語運用能力や表現センスは、外国語を習得するための土台となります。そのためには、母語を正確に、効果的に使用することが必要です。この授業は、日本語を意識することと日本語表現能力の向上を目的とします。後期は、調べる、書く、発表するなどのアカデミック・スキルのトレーニングをします。具体的には、「日本語表現法演習Ⅰ」を踏まえ、普段の生活の中で気になっている日本語についてグループごとに実態調査をし、発表します。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

積極的に教室活動に参加すること。

### 【評価方法】

出席率、授業態度、発表、宿題の提出などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

ハンドアウトを使用する。

### 【参考文献】

適宜指示する。

## 日本語表現法演習Ⅱ

担当教員 ーケリ 綾子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

ことばはコミュニケーションの重要な道具です。母語運用能力や表現センスは、外国語を習得するための土台となります。そのためには、母語を正確に、効果的に使用することが必要です。この授業は、日本語を意識することと日本語表現能力の向上を目的とします。後期は、書く、調べる、発表するなどのアカデミック・スキルのトレーニングをします。具体的には、「日本語表現法演習Ⅰ」を踏まえ、普段の生活の中で気になっている日本語についてグループごとに実態調査をし、発表します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション プロジェクトワークの目的
2	ウチナーヤマトゥグチ文体、敬語、文章の書き方
3	プロジェクトワークについて グループ分け、トピック決定
4	プロジェクトワーク (1) アンケート質問事項作成
5	プロジェクトワーク (2) クラス内で試しアンケート
6	プロジェクトワーク (3) アンケート項目別に予測をたてる
7	プロジェクトワーク (4) アンケート集計、考察
8	プロジェクトワーク (5) 発表準備、レジュメ、発表資料作成
9	プロジェクトワーク (6)
10	発表練習 各グループで口頭練習
11	発表 (1)
12	発表 (2)
13	発表 (3)
14	発表 (4)
15	発表 (5)
16	まとめ

## 【履修上の注意事項】

グループで日本語に関するテーマで、アンケート調査をし、口頭発表を行います。日本語に興味のある学生、積極的に教室活動に参加し発表力をつけたい学生の受講を期待します。

## 【評価方法】

出席率、授業参加度、発表、宿題の提出などから、総合的に評価します。

## 【テキスト】

ハンドアウトを使用します。

## 【参考文献】

適宜指示。

## Public Speaking

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

The aim of this course is to introduce students to the basics of public speaking, with an emphasis on speaking extemporaneously. Students will receive training and instruction in delivery, speech preparation, audience analysis, outlining a speech, gesturing, using props and visual aids, persuasion, researching a topic, and critiquing a speech.

## 【授業の展開計画】

Students will be required to give three speeches: a speech about a painful experience, an informative speech, and a persuasive speech. In addition, students might be required to upgrade (using visual aids and other methods) one speech that they will then have to deliver as a final exam. The speeches will be taped.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to class and methods, overview of public speaking, self-introductions
2	Basics of the speechmaking process, delivering your speech
3	PAINFUL EXPERIENCE SPEECHES and discussion of speeches
4	Preparing your speech: choosing a topic, analyzing the audience, and gathering information
5	Preparing your speech: organizing your speech, writing effective introductions
6	INFORMATIVE SPEECHES
7	Discussion and evaluation of speeches
8	Capturing and maintaining audience attention
9	Organizing a persuasive speech
10	Persuading an audience
11	PERSUASIVE SPEECHES
12	Discussion and evaluation of speeches
13	Using props and visual aids
14	Using Power Point effectively
15	FINAL SPEECHES
16	FINAL SPEECHES

## 【履修上の注意事項】

Students should be prepared to spend most of each period speaking in English. I expect students to deliver all of their speeches extemporaneously, which means that speeches should be well-rehearsed. Students may use note cards during their speeches, but they should be able to maintain eye contact with the audience.

## 【評価方法】

Grades for speeches will be assigned based on student evaluations, submitted notes, and teacher observation. Grade percentages will be assigned as follows: painful experience speech (15%), informative speech (30%), persuasive speech (40%), and evaluation of other speeches (15%). However, if there is time to give a final speech, these percentages will change.

## 【テキスト】

No textbook is required; however, students should bring an electronic dictionary and B5 notebook to every class.

## 【参考文献】

Numerous handouts will be distributed during class.

## ビジネス英語

担当教員 島袋 美智子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

ビジネスのシーンに必要な英語表現を学びます。テキストを用いて発音、ペアでのロールプレイなどを行います。クラスが大きい場合はグループに分けてロールプレイを行います。発声を重視しますので出来るだけ英語を口に出して下さい。名刺作成、英文履歴書、Eメールの書き方、商品開発プレゼン、ビジネストリップ計画、請求書作成などビジネスに必要な事項を学びます。ペアやグループ活動によるプレゼンも予定しています。

### 【授業の展開計画】

以下はタスクとして、またはテキストを使用してやる予定です。

- 1 英語名刺を作成する
- 2 Eメールの書き方
- 3 商品開発をグループで行いプレゼンする
- 4 ビジネストリップの通信手段
- 5 取引相手に会う
- 6 出張のこと、請求書の書き方
- 7 飛行機での出張, 予約
- 8 ホテルの予約
- 9 電話でのやりとり、数字の聞き取り
- 10 ビジネス起業のために

### 【履修上の注意事項】

遅刻は原則として認めません。理由如何により4分まで認めますが、それ以降は欠席扱いとします。クラス毎に課題があり、テキストCDのリスニング、シャドーイング、内容把握の予習が必要と考えて下さい。出席を重視しますので、なるべく休まないようにして下さい。私語は極力抑えるようにして下さい。

### 【評価方法】

1. 学期末にテストを実施する（成績は5段階で評価。3以上が講座を修了することができる）。
2. 出席に関しては全クラスのうち四分の一以上の欠席がある場合は履修を認めない。出席重視。
3. プレゼンテーション、グループワーク、ペアワークへの積極的参加を重視する。
4. 提出物の期限内提出、評価

### 【テキスト】

テキストに関してはクラス内でお知らせいたします。

### 【参考文献】

1. Interactive Business English on DVD Seibido出版
2. English in 30 Seconds 南雲堂出版 (DVD付)
3. Web sites で情報収集。The Wall Street Journalなどのニュースサイトで情報収集、語彙力アップ。

## ビジネス英語

担当教員 ケート オカラハン

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

The students attending this class will be introduced to various facets of the world of international business. From product inception to international marketing and all the steps in between. This will be an active, fast moving, challenging class. Students must be prepared for the lessons by doing research outside the classroom before every class.

### 【授業の展開計画】

While the basis of the class will follow the text structure, extra work will be required of the students every week before the next meeting. The students will need to bring the extra research into class every week.

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

The students will earn their grades through active participation (bringing the required research to class every week to use), evaluated group role play, presentations and attendance. A detailed breakdown will be distributed on the first day of class.

### 【テキスト】

TBA

### 【参考文献】



## Pronunciation Workshop

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

This lecture-lab course provides intensive training in recognition and reproduction of English speech. As well as learning all aspects of English pronunciation including individual sounds, accent, rhythm, connected speech, reduction, phrasing and intonation, students will develop listening and speaking skills through both receptive and productive practice.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Vowels (1)
3	Vowels (2)
4	Vowels (3)
5	Review; Quiz I
6	Consonants (1)
7	Consonants (2)
8	Consonants (3)
9	Review; Quiz II
10	Accent & Rhythm
11	Liasion
12	Reduction
13	Review; Quiz III
14	Phrasing
15	Intonation
16	Review; Quiz IV

## 【履修上の注意事項】

No particular requirements.

## 【評価方法】

Attendance & class participation (50%), Quizzes (50%)

## 【テキスト】

To be announced in class.

## 【参考文献】

## Pronunciation Workshop

担当教員 ーグレイ クエン ヒデオ

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

Develop students understanding of English pronunciation

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Intro
2	unit 1
3	unit 2
4	unit 3
5	unit 4
6	unit 5
7	unit 6
8	unit 7
9	unit 8
10	unit 9
11	unit 10
12	unit 11
13	unit 12
14	unit 13
15	unit 14
16	unit 15

## 【履修上の注意事項】

loosen that tongue. let's get ready to wag!

## 【評価方法】

Class attendance and ACTIVE participation will be paramount.  
Desire to improve and willingness to work will serve you well.

## 【テキスト】

pronunciation in use

## 【参考文献】

N/A

## 翻訳研究

担当教員 素民喜 琢磨

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

### 【授業のねらい】

このクラスでは、本格的な翻訳を教えるにあたり、特に英文を日本語に翻訳することに重点をおいて行う。また、生徒に翻訳における専門的な知識と、翻訳家に必要とされる技術を学んでもらうことを何よりの目的とする。

### 【授業の展開計画】

自分が翻訳したい資料などを授業に持ってきてもらいたい。学説や、方法論、翻訳に対する信念は向かい合う様々な問題として討論される。

週	授 業 の 内 容
1	講義内容と方法の説明、翻訳紹介
2	翻訳の種類、依頼者のニーズ、翻訳家の仕事、簡潔な翻訳
3	課題1 レシピ
4	道具、辞書、ウェブサイト、本格構成、TMソフトウェア
5	課題2 運転免許証
6	課題3 ユーモアテキスト
7	課題4 広告テキスト
8	課題5 ビジネス通信
9	課題6 ビジネス通信
10	課題7 文学テキスト
11	課題8 文学テキスト
12	グループ活動 アメリカのテレビ番組を日本語に訳して、日本語の吹き替え版を作ります。
13	グループ活動
14	グループ活動
15	吹き替え版の録音
16	吹き替え版の録音 / 公開

### 【履修上の注意事項】

この講義を受ける受講生には高い英語読解力を期待する。

翻訳の際に翻訳機を使わないこと。翻訳機にかけたものは、盗用とみなす。同様にクラスメートの翻訳を写さないこと。自分で翻訳したことが証明されなければならない。

### 【評価方法】

生徒の評価は、講義での発言や提出物が15%、宿題の課題が35%、最終のグループ発表が25%、最終ノート提出が25%である。受講者は少なくとも75%以上の出席と、欠席の際の補修は完璧に提出しなければならない。

### 【テキスト】

この講義ではテキストは必要ないが、受講生は電子辞書とB5のノートを毎回持ってくる。配布された資料や翻訳する際参考にした資料をコピーして持って来てもらうこともある。

### 【参考文献】